

令和3年度  
第1回岩手県生涯学習審議会  
社会教育委員会議

期日：令和3年7月19日（月）  
場所：サンセール盛岡1F ダイヤモンド

資料

資料1	生涯学習・文化財行政の事業体系	P 2、3
	第1期アクションプランの進捗状況	P 4、5
	1 生涯学習の推進	P 6、7
	2 家庭教育の支援	P 8、9
	3 青少年の学習活動の支援	P 10～13
	4 成人・高齢者の学習活動の支援	P 14、15
	5 社会教育の充実	P 16、17
	6 文化財の保護	P 18、19
	7 社会教育施設等の環境整備	P 20、21
資料2	学校教育室	P 24
資料3	保健体育課	P 25
資料4	県立生涯学習推進センター	P 26
資料5	県立図書館	P 27
資料6	県立博物館	P 28
資料7	県立美術館	P 29
資料8	県立青少年の家	P 30～32
資料9	県立野外活動センター	P 33
資料10	今後求められる施策の方向性について	P 35～

岩手県教育委員会

令和 3 年度

---

# 生涯学習・文化財行政の事業計画

---

生涯学習・文化財行政の体系

- 1 生涯学習の推進
- 2 家庭教育の支援
- 3 青少年の学習活動の支援
- 4 成人・高齢者の学習活動の支援
- 5 社会教育の充実
- 6 文化財の保護
- 7 社会教育施設等の環境整備

# 令和3年度 生涯学習・文化財行政の体系

## いわて県民計画 2019～2028

I 健康余暇 II 家族・子育て III 教育 VII 歴史・文化

～東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、  
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて～

### 岩手県教育振興計画

計画  
期間

2019年度～2023年度  
までの5年間

#### 岩手の教育をめぐる状況

##### 1 岩手の教育の歩み

- ・ 平成18年の教育基本法の改正以降、社会全体での教育改革が進行
- ・ 教育振興運動や「いわて教育の日」などの取組の推進
- ・ 学習定着度状況調査による「わかる授業」の実践
- ・ 県立美術館、県立図書館の整備等
- ・ 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催
- ・ 平泉の文化遺産や橋野鉄鉱山の世界遺産登録

##### 2 社会状況の変化

- ・ 人口減少・少子化・高齢化の進行
- ・ 急速な技術革新やグローバル化の進展
- ・ 子どもを取り巻く社会経済的な課題の表面化
- ・ 地域間格差の拡大
- ・ 東日本大震災津波からの復旧・復興

##### 3 岩手県の教育の現状と課題

###### 学校教育

- 子どもたちをめぐる課題
  - ・ 授業力の向上や家庭学習の定着
  - ・ 情報社会に主体的に対応する力の育成
  - ・ 運動習慣の定着
  - ・ 特別支援教育における発達段階に応じた支援や指導
  - ・ いじめへの適切な対応
  - ・ 問題行動等の未然防止、早期発見・適切な対応
- 教職員のスキルの継承と負担の増加
  - ・ 働き方改革による「チームとしての学校」の推進
- 高校卒業後の進学や就職を取り巻く環境
  - ・ 大学入試制度改革への対応
  - ・ 地元定着の促進に向けたキャリア教育の充実
- 学校の統廃合や施設の老朽化
  - ・ 教育の質の保証と学ぶ機会の保障

###### 社会教育・家庭教育

- 家庭の状況変化
  - ・ 社会全体での教育力の向上
- 地域コミュニティの変化
  - ・ 教育振興運動や生涯学習による  
地域コミュニティの維持向上
- 人生100年時代の到来
  - ・ 生涯にわたって学び続けられる環境づくり
- 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
  - ・ 文化芸術やスポーツの推進と  
地域への愛着の醸成





## 社会教育・家庭教育

目指す姿

県民が、主体的・相互的に連携し、助け合うことにより、家庭の教育力の向上に努めるとともに、地域課題の解決に向けた取組や、文化芸術・スポーツ活動などへの参加により、生涯を通じて楽しく学び、生き生きと生活しています。

取組の  
視点

視点1

岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進

視点2

郷土に誇りと愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成

視点3

学びの場の復興の更なる推進

### <具体的な施策の内容>

## 社会教育・家庭教育

### <具体的な推進方策>

学校と家庭・地域との協働の推進

- 学校・家庭・地域が連携するしくみづくり
- 多様な体験活動の充実
- 地域学校協働活動の推進 等

子育て支援や家庭教育支援の充実

- 子育てや家庭教育に関する学習活動支援
- 電話やメール等による相談体制の充実
- 子育て支援グループのネットワークづくり 等

生涯にわたり学び続ける環境づくり

- 多様な学習機会の充実
- 学びと活動の循環による地域の活性化
- 社会教育の中核を担う人材の養成・確保と研修の充実 等

次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

- 学校における特別活動や文化部活動による郷土芸能の継承
- 文化財の適切な保存と継承 等

# いわて県民計画(2019～2028)「第1期アクションプラン」の進捗状況 ～生涯学習文化財課主要事業の指標～

## I 健康・余暇

### 5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2020 実績値
			2019	2020	2021	2022	
生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数(累計)	人	792	835	860	885	910	861
生涯学習情報提供システム（HP）利用件数	件	63,542	72,000	79,000	86,000	93,000	31,402
「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合	%	小5；45	46	47	48	50	46
		中2；42	44	46	48	51	40
		高2；38	41	44	48	52	39
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	67.0
県立社会教育施設で開催した「岩手」をテーマとした講座の受講者数	人	850	950	1,050	1,150	1,250	623
教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数	件	4,224 (2018)	4,454	4,684	4,914	5,144	3,411
社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	79	93	103	113	123	121
県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	91	91	91	93
県立青少年の家における利用者の満足度の割合	%	97	97	97	97	97	98

## II 家族・子育て

### 6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2020 実績値
			2019	2020	2021	2022	
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	67.0
すこやかメールマガジンの登録人数	人	1,041	2,000	3,000	4,000	5,000	3,043
子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	502	525	550	575	600	579

## 7 地域コミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもを教え、育てます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2020 実績値
			2019	2020	2021	2022	
コミュニティ・スクール設置市町村数（累計）	市町村	4	9	11	25	33	11
地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合	%	小5；79.0	81.0	82.0	83.0	84.0	100
		中2；60.0	62.8	64.2	65.6	67.0	92.7
教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数【再掲】	件	4,224 (2018)	4,454	4,684	4,914	5,144	3,411
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	67.0
県立青少年の家が提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	%	98	98	98	98	98	100

## III 教育

### 12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2020 実績値
			2019	2020	2021	2022	
「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合【再掲】	%	小5；45	46	47	48	50	46
		中2；42	44	46	48	51	40
		高2；38	41	44	48	52	39
コミュニティ・スクール設置市町村数（累計） 【再掲】	市町村	4	9	11	25	33	11

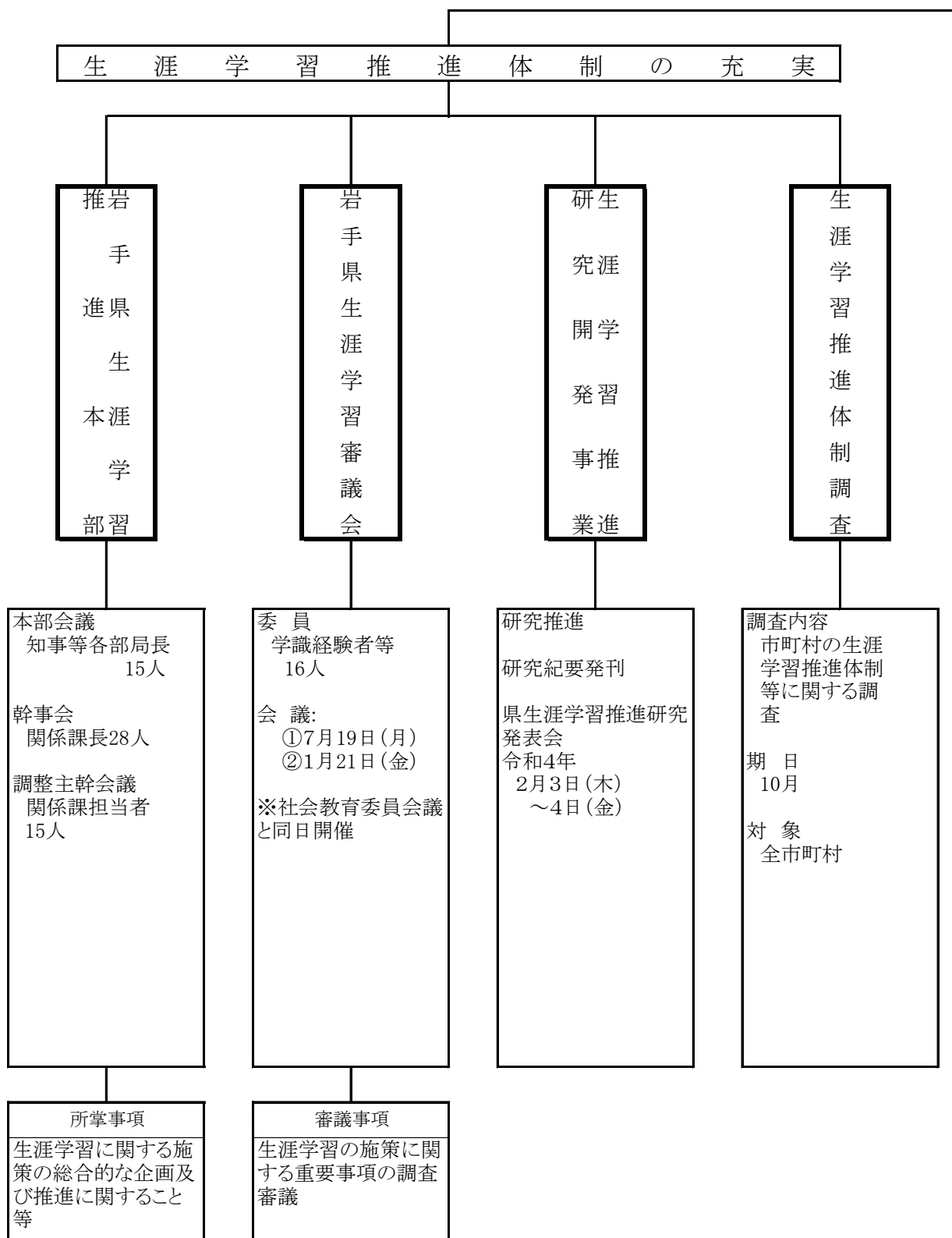
## VII 歴史・文化

### 41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流をひろげます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2020 実績値
			2019	2020	2021	2022	
文化財保存活用地域計画を策定した市町村数 ※	市町村	—	3	8	15	22	0

※目標値は2019年からの累計

# 1 生涯学習の推進



# 生涯学習の普及奨励

生涯学習  
情報  
提供

- HP「まなびネットいわて」の運用  
ア 指導者・ボランティア情報  
イ 講座・イベント情報  
ウ 団体・グループ情報  
エ 教材情報  
オ 施設情報  
カ 相談・支援 等
- メールマガジン提供
- 県立生涯学習推進センター情報紙発行
- SNS（フェイスブック、ツイッター）の運用

生涯学習  
推進  
事業

- 生涯学習ボランティアセンターの一元化・再構築化  
・データについては生涯学習推進センターに一元化  
・各教育事務所単位での相談業務は継続
- 生涯学習ボランティア等に関する情報の提供（HP「まなびネットいわて」に掲載）

生涯学習  
相談

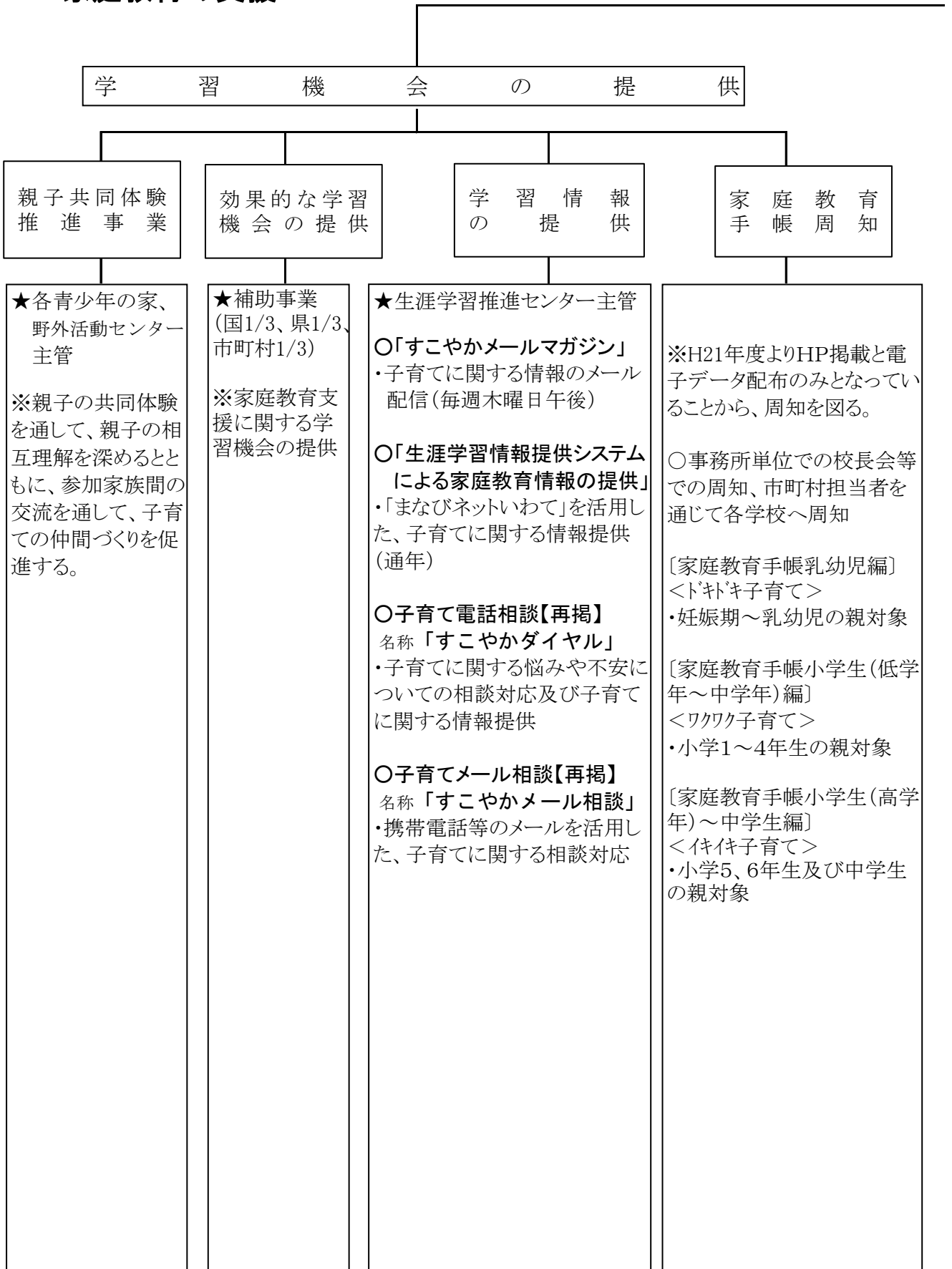
- 開設日  
月～金
- 時間  
9:00～17:00
- 電話  
0198 (27) 4563
- 担当  
専門職員等

高等学校  
卒業  
試験  
日程

- 期日  
①8月12日(木)～13日(金)  
②11月6日(土)～7日(日)
- 対象  
高校を卒業していないなどのため、大学入学資格を有していない者
- 場所  
生涯学習推進センター  
\*要項は県が配布  
\*願書の提出は直接国へ



## 2 家庭教育の支援



家庭教育を支える環境づくり

相談体制の充実  
意識啓発

家庭教育  
支援体制整備

子育てサポーター等の  
スキルアップ・支援関係者のネットワークづくりによる活動促進

放課後児童支援員  
認定資格研修

★生涯学習推進センター  
主管

○子育て電話相談  
名称 「すこやかダイヤル」  
・子育てに関する悩みや不安についての相談対応及び子育てに関する情報提供

○子育てメール相談  
名称 「すこやかメール相談」  
・携帯電話等のメールを活用した、子育てに関する相談対応

○「すこやかメールマガジン」【再掲】  
・子育てに関する情報のメール配信(毎週木曜日午後)

★補助事業  
(国1/3、県2/3)

○促進委員会の開催  
期日 年2回  
(5月21日、1月21日)  
会場 サンセール盛岡  
内容 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進に向けた事業内容の検討、検証・評価等を行う。

委員 有識者、児童福祉関係者、教育係等  
視察 8～12月

○家庭教育・子育て支援担当者研修会  
目的 行政担当者等のスキルアップ

回数 1回(センター主管)  
内容 講演、グループ協議  
対象 行政担当職員等

○子育て・家庭教育相談担当者研修会  
目的 電話相談担当者等のスキルアップ

回数 2回(センター主管)  
内容 講話、講義  
対象 電話相談担当者等

★生涯学習推進センター  
主管

○地域安全防災研修会  
目的 行政担当者等のスキルアップ

○放課後子ども総合プラン指導者合同研修会  
目的 指導者等のスキルアップ

★補助事業  
(国1/3、県2/3)

○子育て支援活動交流  
研修会

目的 関係者の資質向上とネットワーク形成  
回数 推進センター1回(センター主管)  
内容 講義、事例発表、ワークショップ  
対象 子育てサポーター、行政担当職員、支援団体関係者等

○地区家庭教育・子育て支援ネットワーク研修会

目的 支援者の資質向上、地域の課題解決のためのネットワーク構築  
回数 教育事務所管内各1回程度(事務所主管)  
内容 管内の課題による  
対象 上記研修会に同じ

★補助事業  
(国1/2、県1/2)

※放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正(H26.4)に伴い、県が実施する研修を子ども子育て支援課と共催で開催し、子育て家庭を支援する。

主催 子ども子育て支援室  
共催 生涯学習文化財課  
主管 生涯学習推進センター

○岩手県放課後児童支援員認定資格研修

期日 6月～11月  
会場 3会場  
内容 講義、演習等(16科目24時間程度)  
対象 放課後児童クラブ等での従事を希望している方または従事している方

### 3 青少年の学習活動の支援①

子どもの読書活動推進事業	
子どもの読書活動推進体制整備事業	子どもの読書活動推進研修事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○岩手県子どもの読書活動推進委員会 (6月18日、1月28日)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・県全域における推進方針検討</li> <li>・推進状況の評価 等</li> </ul> </li> <li>○子どもの読書活動推進体制整備事業 (各地域事業)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区における推進体制の整備</li> <li>・各教育事務所主管</li> </ul> </li> <li>○岩手県子どもの読書状況調査 対象期間：10月1日～31日 調査対象：県内の公立小学校5年生・                   中学校2年生（義務教育                   学校5年・8年）・高校                   2年生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書ボランティア等研修会 (中央研修)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内全域を対象とした読書ボランティア等の 資質向上を図る</li> <li>・生涯学習推進センター主管</li> </ul> </li> <li>○読書ボランティア等研修会 (各地域研修)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に応じた研修会</li> <li>・各教育事務所主管</li> </ul> </li> <li>○中・高等学校図書館担当者等研修会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と関係機関との連携体制構築及び担当者 の資質向上を図る</li> <li>・各教育事務所主管</li> </ul> </li> </ul>
子どもの読書活動普及啓発事業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○岩手県子どもの読書活動推進計画 【第4次】の周知・普及               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議、研修会等における周知</li> </ul> </li> <li>○ブックリスト「いわ100（中高生向 け）」及び「いわ100きつず（小学生 向け）」の活用促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1年生及び小学1年生への配付</li> <li>・活用例等の情報提供</li> </ul> </li> </ul>	

## 青少年の家等プログラム充実事業

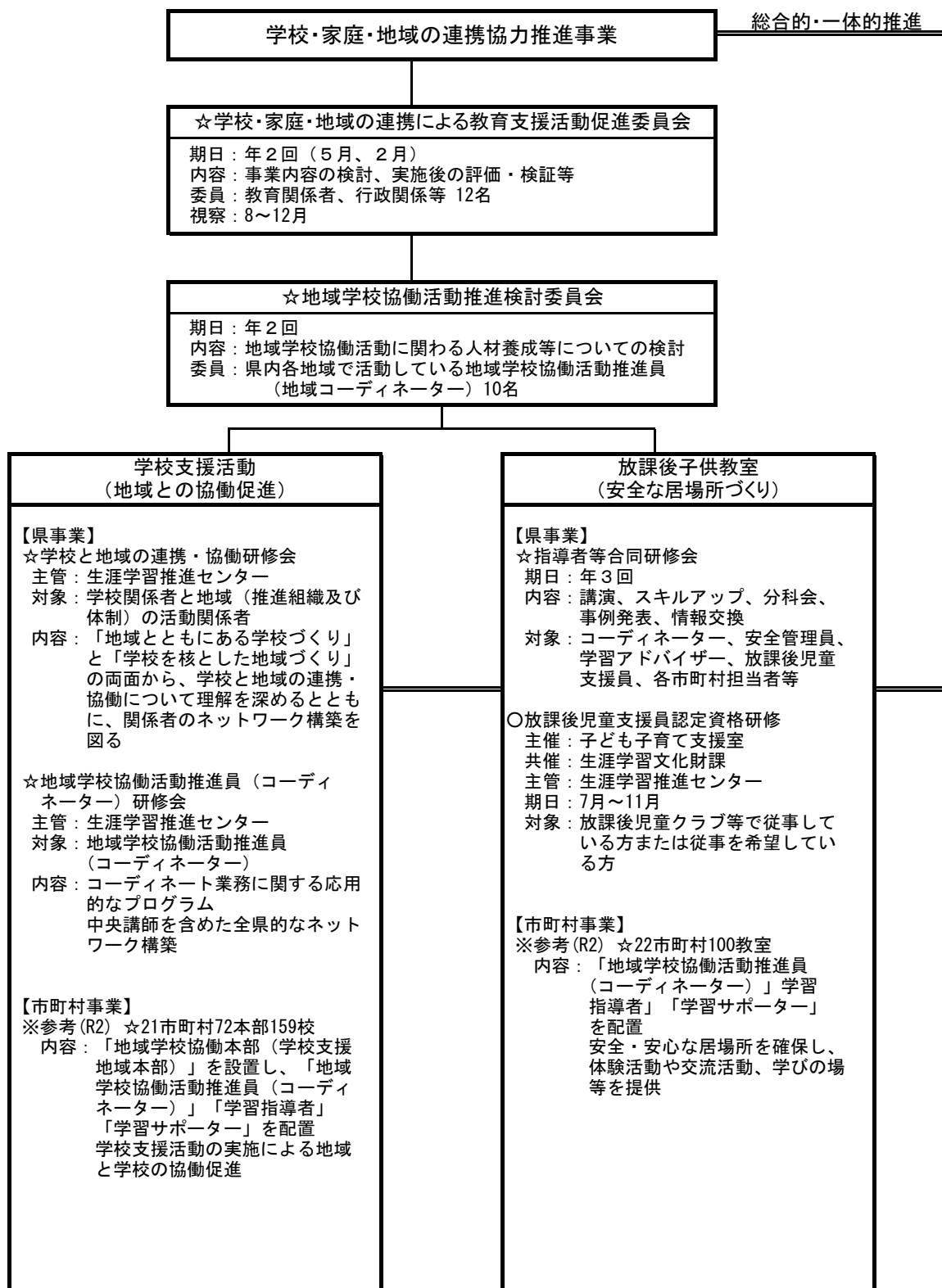
- 県立各青少年の家等におけるプログラム開発
  - ・特色ある自然体験プログラム
  - ・不登校児童生徒等対応プログラム
  - ・地域人材のボランティア養成プログラム
  - ・復興、防災教育プログラム

## 青少年健全育成連携事業

若者女性協働推進室  
・青少年育成県民会議連携

- いわて希望塾
  - 【番外編】
  - 「わたしの一押し・わたしが思う未来のいわて」つぶやき募集
  - ・内容：いわての良いところや希望するいわての姿を50文字以内で表現
  - ・対象：県内の中学生全学年及び義務教育学校7～9学年の生徒
  - ・募集：7月20日～10月31日
- わたしの主張岩手県大会
  - ・期日：9月15日
  - ・場所：盛岡劇場・河南公民館
  - ・内容：中学生による意見発表
- わたしの主張地区大会
  - ・期日：8月～9月
  - ・場所：各警察署管内
  - ・内容：中学生による意見発表
- 情報メディア対応促進事業
  - ・教振運動との連携
  - ・出前講座
  - ・講師派遣に係る情報提供
  - ・相談窓口紹介
- 立入調査
  - ・不健全図書立入調査
  - ・隔月実施
- いわて家庭の日
  - ・家族・親子のふれあいを啓発する県民運動を推進
  - ・毎月第3日曜日

### 3 青少年の学習活動の支援②(学校と地域の連携・協働)



地域学校協働活動・教育振興運動推進事業

連携  
目標共有

いわて地域学校連携促進事業

教育振興運動推進幹事会

期日：年1回（2月）  
幹事：教委13名＋知事部局2名  
内容：運動の推進方針の検討、運動の評価と反省  
視察：7～12月

地域学校連携・協働推進検討委員会

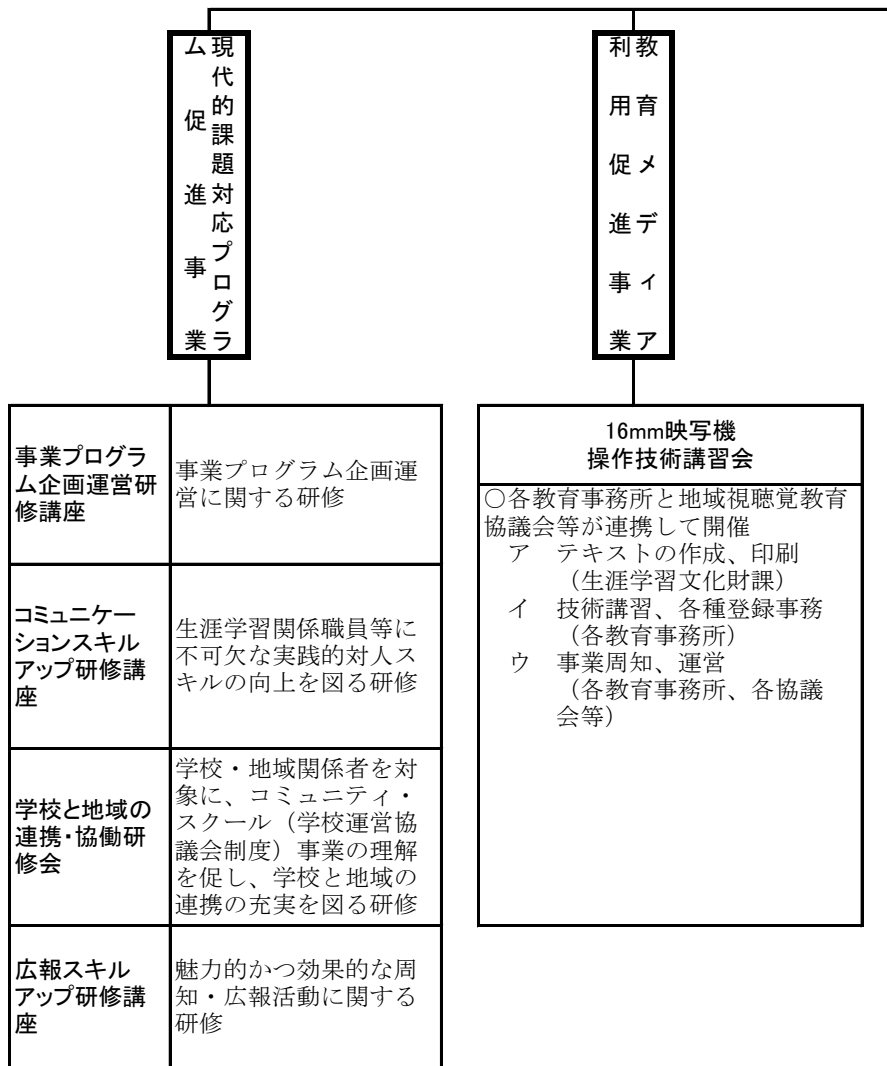
期日：年2回  
委員：関係室課・機関 17名  
内容：地域学校連携・協働推進検討委員会の所掌  
事務及び本県施策に関する協議

- 「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会  
主管：生涯学習文化財課  
期日：6月1日  
場所：生涯学習推進センター  
対象：市町村担当者、教育事務所担当者  
内容：行政説明、演習等
- 「地域学校協働活動・教育振興運動」地域活性化推進事業
  - ・地域学校協働活動推進員（コーディネーター）地区別研修講座  
主管：教育事務所  
対象：今後、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の役割を担うことが考えられる保護者及び地域住民、等  
内容：各地域で活動している推進員（コーディネーター）の参画により設定  
上記推進員を中心とした各地域のネットワーク構築
  - ・「地域学校協働活動・教育振興運動」の充実や推進体制の整備等を目的にする訪問支援  
主管：教育事務所  
内容：地域学校協働活動の充実や推進体制の整備等を目的に実施する訪問支援

- 地区「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム  
期日：各教育事務所と調整  
場所：各教育事務所管内  
内容：実践事例発表、パネルディスカッション等
- 教育委員会説明会（要請に応じて実施）  
期日：各市町村教育委員会と調整  
場所：各市町村庁舎内  
内容：国および県施策の説明
- 地域学校連携・協働推進支援事業（訪問支援）  
期日：通年  
場所：各市町村、学校、地区等  
内容：指導主事・社教主事が連携し、各町村等が抱える課題解決のための事業等に対し、要請に応じて支援を実施する。
- 社会教育施設の有効活用  
期日：通年  
場所：各青少年教育施設等  
内容：社会教育施設を活用した授業の取組事例を収集・紹介する。
- 地域学校連携・協働推進モデル指定研究事業  
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入等、地域学校の連携・協働の在り方等について調査研究を行うとともにその成果を普及啓発する。

（注）☆が付いている事業  
R2までは、被災者総合交付金事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」（国10/10）ならびに国庫事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」（国1/3、県1/3、市町村1/3）構成事業として実施  
R3からは、全て国庫事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」（国1/3、県1/3、市町村1/3）構成事業として実施

#### 4 成人・高齢者の学習活動の支援



シ生  
ス涯  
テ学  
ム習  
運情  
営報  
事提  
業供

(再掲)

高  
齢  
者  
の  
学  
習  
活  
動  
支  
援  
・  
活  
用  
の  
場  
の  
情  
報  
提  
供  
等

障  
が  
い  
者  
の  
生  
涯  
を  
通  
じ  
た  
学  
習  
活  
動  
の  
推  
進

**学習メニューのHP掲載**

○HP  
「まなびネットいわて」  
の運用  
ア 指導者・ボランティア情報  
イ 講座・イベント情報  
ウ 団体・グループ情報  
エ 教材・施設・新聞記事情報  
オ 子育てサポーター

○メールマガジン提供  
ア いわてマナビマガジン  
イ すこやかメールマガジン

○県立生涯学習推進センター情報発行

・世代間交流  
や青少年関連  
事業、学校支  
援活動、子ど  
もの居場所づ  
くり、教育振  
興運動等への  
高齢者の参加  
促進及び活動  
状況の県民へ  
の事例周知等

**学習支援体制整備**

障がい者の学校卒業後の学び  
の基盤づくり  
○関係各課による庁内連携会  
議 (年2回)  
○市町村担当者研修会  
・「共に学び、共に生きる共生社  
会コンファレンス(東北ブロック)」  
に併せて実施  
※文部科学省事業  
※11月に本県で開催予定  
○学習活動を支える人材の育成  
○実践交流

**調査・研究**

○市町村担当者調査  
○県立生涯学習推進センター  
における研究テーマとしての設  
定  
○ニーズ調査等

**学習情報の提供等**

○関係各課、各市町村への情  
報提供  
○文部科学大臣表彰等による  
好事例の紹介



# 5 社会教育の充実

## 指導体制の充実

### 諸会議の開催

- 県社会教育委員会議
  - ・第1回 7/19
  - ・第2回 R4 1/26
- 県社会教育主事等会議
  - ・第1回 4/7、8
  - ・第2回 11/16、17
  - ・第3回 R4 2/16
- 市町村主管課長会議
  - ・各教育事務所
  - ・4～5月
- 都市社会教育主管課長会議
  - ・一関市

### 人的体制の充実

社会教育主事講習の受講促進  
社会教育主事の配置促進

(再掲)

### 「いわてマナビマガジン」の配信

・教育振興運動など生涯学習・社会教育に関する最新トピックを月2回配信。

### 社会教育関係職員研修の充実

- 【生涯学習推進センター関係】
    - ・市町村職員・関係職員研修
    - 新任生涯学習関係職員研修講座
    - 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座
    - センター・公民館・主管課職員等セミナー
    - 人づくり・地域づくり関係職員等研修講座
    - 事業プログラム企画運営研修講座
    - コミュニケーションスキルアップ研修講座
    - 学校と地域の連携・協働研修会
    - 地域安全防災研修会
    - 広報スキルアップ研修講座
    - 家庭教育・子育て支援担当者研修会
    - 子育て・家庭教育相談担当者研修会
    - 岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会
  - ・ボランティア活動者・有志指導者研修
  - 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会
  - 読書ボランティア研修会
  - 放課後子ども総合プラン指導者合同研修会
  - 子育て支援活動交流研修会
  - ・要請研修
  - 随時研修(通年)、出前研修(講師派遣)
  - ・その他
  - 岩手県生涯学習推進研究発表会
  - 放課後児童支援員認定資格研修
- 【社会教育主事講習】
    - ・弘前大学・国社研A・B
  - 【県立図書館関係】
    - 新任図書館長等研修会
    - 初任職員研修会
    - 中堅職員研修会
    - 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会
    - 市町村職員専門研修
  - 【文部科学省、社会教育実践センター等】
    - 全国生涯学習センター等研究交流会
    - 「全国社会教育主事の会」研究交流会
    - 地域教育力を高めるボランティアセミナー
    - 公民館職員専門講座
    - 図書館司書専門講座
    - 新任図書館長研修
    - 博物館長研修
    - 社会教育主事専門講座
    - 博物館学芸員専門講座
    - 全国博物館長会議
    - 学芸員等在外派遣研修
  - 【独立行政法人 国立女性教育会館】
    - 男女共同参画推進フォーラム
    - 地域における男女共同参画推進リーダー研修

社会教育施設の整備充実

社会教育関係団体への助成

【総括団体】

岩手県社会教育関係団体連絡協議会

【構成10団体】

岩手県青年団体協議会

日本ボーイスカウト岩手連盟

ガールスカウト岩手県連盟

特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会

岩手県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会

(一社)岩手県PTA連合会

岩手県高等学校PTA連合会

岩手県社会教育連絡協議会

岩手県ユネスコ協会連盟

岩手県子ども会育成連合会

社会教育基本調査

・全市町村対象  
10/1現在で調査

・集計は、生涯学習推進センター

管  
立  
理  
運  
営  
の  
図  
書  
館

管  
立  
理  
運  
営  
の  
青  
少  
年  
の  
當  
家

の  
視  
聴  
整  
備  
充  
実  
ラ  
イ  
ブ  
ラ  
リ  
ー

- ・県立図書館視聴覚資料団体貸出部門  
(視聴覚ライブラリー) (県立図書館)
- ・盛岡教育事務所管内教育振興協議会  
(盛岡市等)
- ・花巻市立図書館視聴覚教育ライブラリー  
(花巻市)
- ・北上市視聴覚ライブラリー(北上市)
- ・西和賀町視聴覚ライブラリー(西和賀町)
- ・県南第一地域視聴覚教育協議会  
(奥州市等)
- ・釜石市視聴覚ライブラリー(釜石市)
- ・遠野市視聴覚ライブラリー(遠野市)
- ・大槌町視聴覚ライブラリー(大槌町)
- ・久慈市視聴覚ライブラリー(久慈市)
- ・宮古市視聴覚ライブラリー(宮古市)
- ・山田町視聴覚ライブラリー(山田町)
- ・岩泉町視聴覚ライブラリー(岩泉町)
- ・二戸市視聴覚ライブラリー(二戸市)

公立社会教育施設災害復旧事業

市町村における社会教育施設の災害復旧への支援

※ 国庫補助事業

・実績報告 ・額の確定 ・請求、支払

【該当市町村】

・陸前高田市

「チーム社教」推進事業

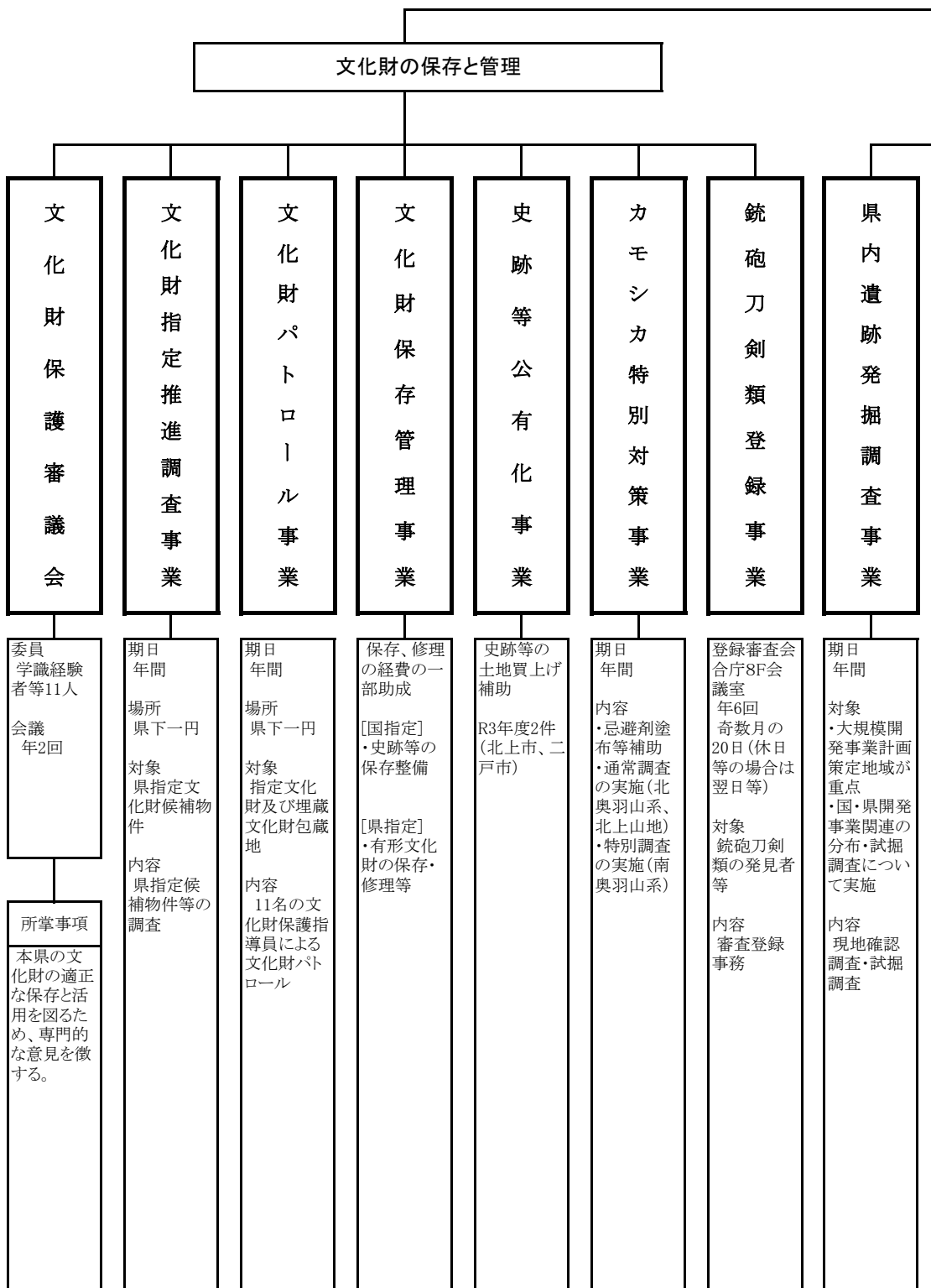
○県社会教育主事等でチームを編成し、市町村の生涯学習・社会教育行政の支援を行う。

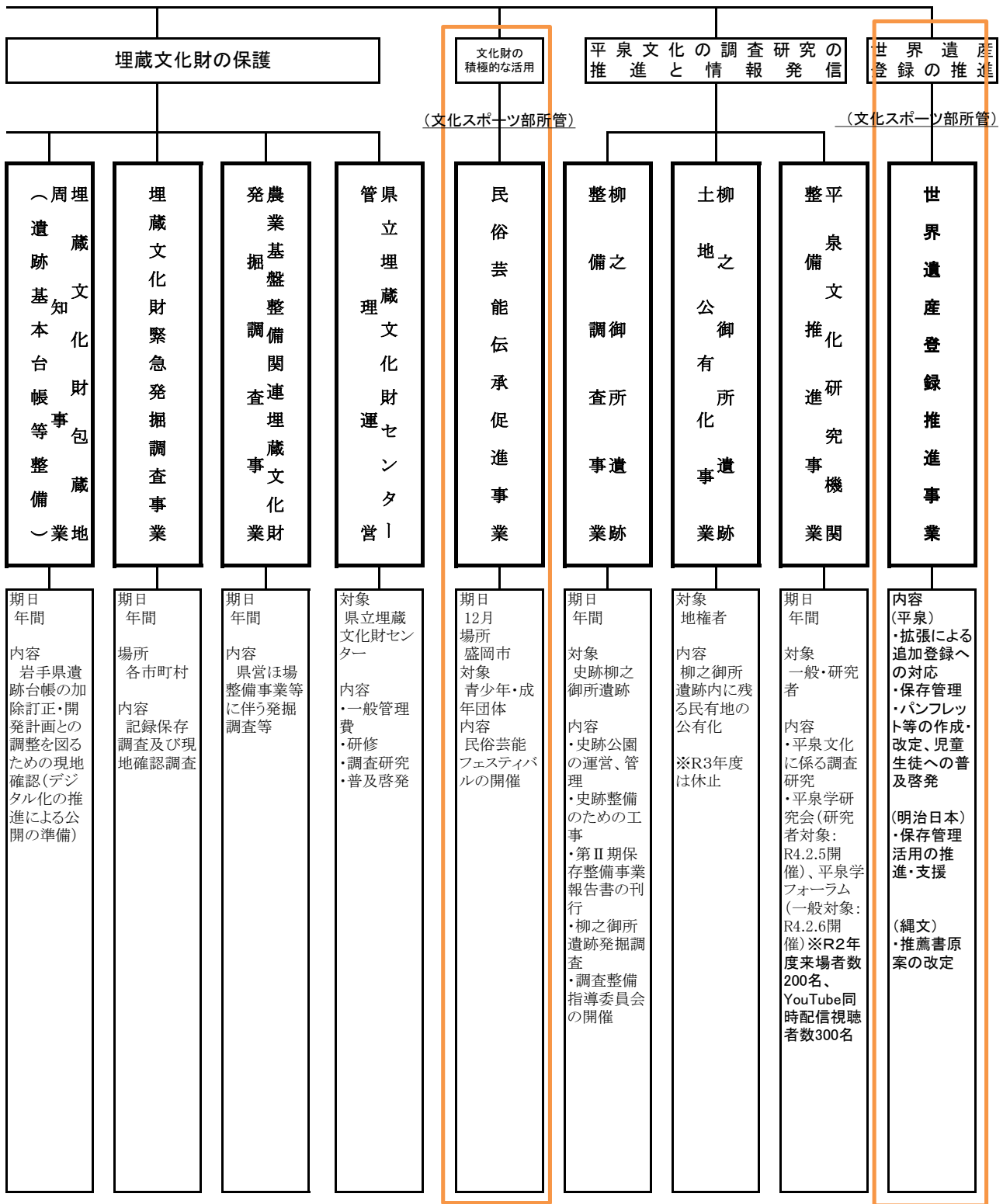
・市町村の社会教育事業や社会教育施設等の実態把握及び支援方策の検討

・市町村各地域の課題把握及び支援方策の検討

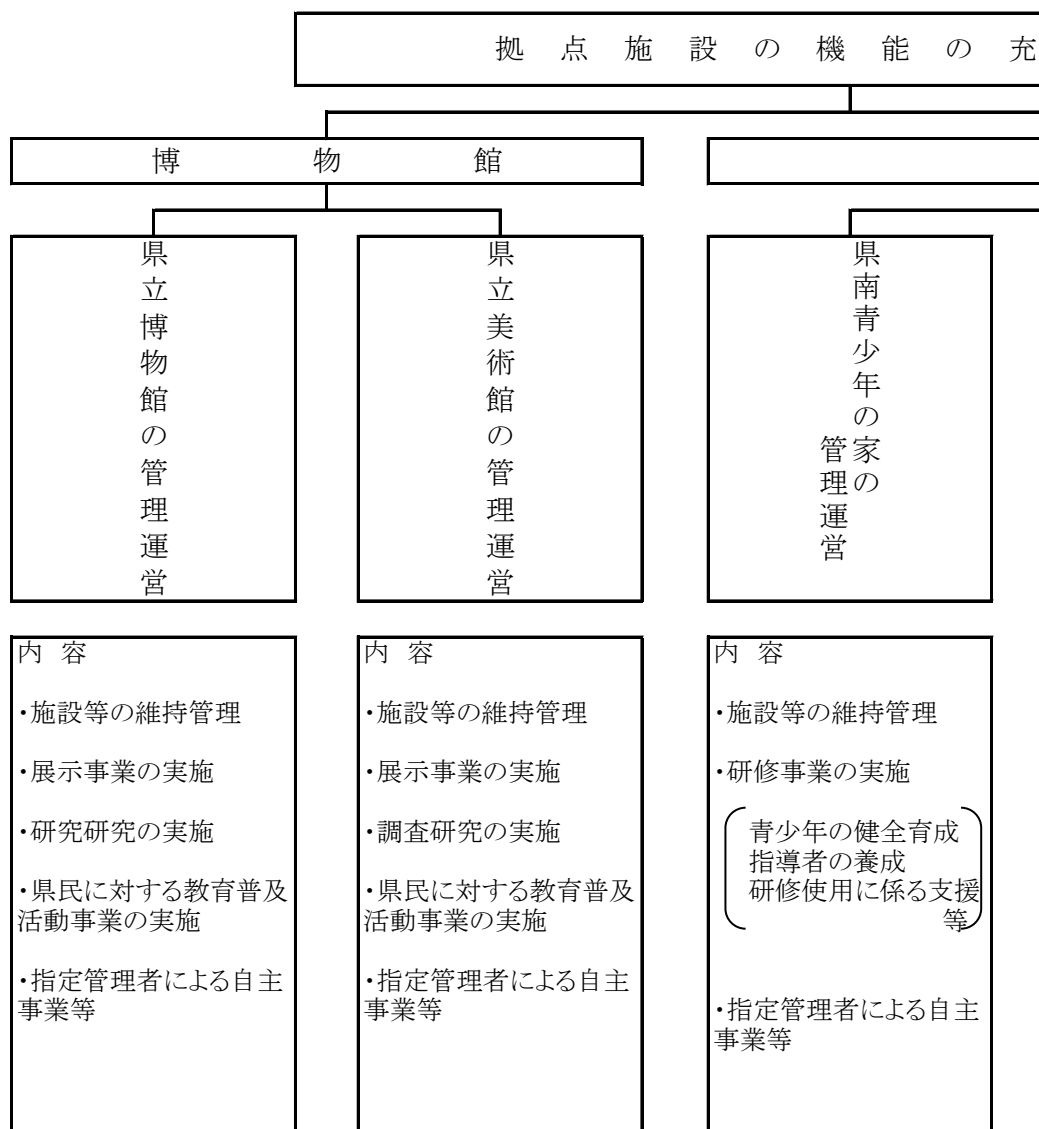
・市町村・各地域の課題解決の支援

## 6 文化財の保護





## 7 社会教育施設等の環境整備



実

青少年の家等

陸  
中  
海  
岸  
青  
少  
年  
の  
家  
の  
管  
理  
運  
営

県  
北  
青  
少  
年  
の  
家  
の  
管  
理  
運  
営

野  
外  
活  
動  
セ  
ン  
タ  
ー  
の  
管  
理  
運  
営

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔 青少年の健全育成  
指導者の養成  
研修使用に係る支援  
等 〕

- ・指定管理者による自主  
事業等

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔 青少年の健全育成  
指導者の養成  
研修使用に係る支援  
等 〕

- ・指定管理者による自主  
事業等

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔 野外活動の普及奨励  
青少年の健全育成  
指導者の養成  
復興・防災教育 等 〕

## 令和3年度

### 各課・各公所主要施策

資料 2	学校教育室
資料 3	保健体育課
資料 4	県立生涯学習推進センター
資料 5	県立図書館
資料 6	県立博物館
資料 7	県立美術館
資料 8	県立青少年の家
資料 9	県立野外活動センター

## 令和3年度の施策に係る概要

公所名 岩手県教育委員会事務局 学校教育室

説明者 職名 学校教育企画監 氏名 中川 覚敬

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
グローバル人材の育成	グローバルな視点を持ち地域の国際化に貢献できる人材を育成するため、英語ワーカーである「イーハトーブの森」や海外派遣研修等を通して、グローバル人材として必要な語学力(英語力)の向上を図る。
地域との協働による高校教育改革	各高校が総合的な探究の時間等において、地域と連携しながら地域の課題を発見・解決する取組を通して、地域への理解を深めるとともに生徒一人一人の課題解決能力を養う。
いわての復興教育の推進	「いわての復興教育」副読本を基にした「絵本」を作成し、「いわての復興教育」を未就学児にも拡充するとともに、就学前教育及び生涯学習との連携を強化し一層の充実を図る。
こころのサポートの充実	スクールカウンセラー等の配置、「心とからだの健康観察」の実施、教員研修の3点を柱として、児童生徒のこころのサポートに引き続き取り組む。
いじめ問題対策	いじめ問題への組織的かつ実効的な取組、自殺予防、関係機関との連携、児童生徒による取組の推進等いじめ問題への対応に係る教員研修の充実や「いじめ問題解決支援チーム」の派遣等に取り組む。

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
人材の育成 グローバル	いわての地域国際化人材育成事業	①イーハトーブの森～英語で未来を拓くワーカー～ ・小5～高3対象 ・目標とする英語力に合わせた2コース	①5月～9月 各コース2回	①児童生徒 各回40名程度
		②高校生の海外派遣研修(北米)	②検討中	②12名
対応 新学習指導要領への	小・中学校教育課程協議会及び関連する各種研修等の実施	新学習指導要領の全面实施(R2:小,R3:中)に対応し、その趣旨・内容及び指導と評価の一体化のあり方等について県内教員の理解を深める	R3.4月 ～R4.3月	公立小・中・義務教育学校教員及び市町村教育委員会関係者
	高等学校新学習指導要領説明会及び関連する各種研修等の実施	R4年度入学生から年次進行で実施される新たな学習指導要領に対応し、その趣旨・内容及び具体的な学習指導の改善のあり方等について県内教員の理解を深める。	R3.4月 ～R4.3月	公立高校教員
校教育 働による高 域との協	「地域との協働による高校改革推進事業」の推進等	モデル校への支援と県内への情報共有等を通じ、高校における地域課題の解決等に向けた探究的な学習を一層推進する。	R3.4月 ～R4.3月	各県立高校
の充実 幼児教育	いわて幼児教育センター(仮称)推進事業	岩手県幼児教育推進連携会議及びワーキンググループを開催し、R4からの「いわて幼児教育センター(仮称)」設置に向けて準備を進める。	R3.4月 ～R4.3月	幼稚園・認定こども園、保育所、小学校、関係機関
教育の推進 いわての復興	いわての復興教育推進事業、学校安全総合支援事業	・いわての復興教育スクール(4事業)	R4.2.15まで	延べ小18、中12、県立20 全公立学校
		・学校防災アドバイザー派遣事業	R4.3まで随時	
		・「震災の教訓を未来に語り継ぐ」期間の設定	R4.2.2	
		・児童生徒実践発表会 ・岩手県防災教育研修会	R3.6.8	
教育相談体制の充実	SC、SSWの配置	学校、教育事務所等に配置し、重層的な教育相談体制を充実させる。	R3.4～R4.3	全校種の児童生徒
	心とからだの健康観察	要サポート児童生徒を把握し、早期の支援につなげる。	8月～9月	全校種の児童生徒
	こころのサポートに係る教員研修	SC等を講師として、こころのサポートに係る教員研修を実施。	R3.4～R4.3	全校種の教員
いじめ対策	いじめ問題に係る教員研修	・いじめ特別研修(主任層,担任層)の実施 ・いじめ問題に係る事務所研修 ・学校等研修支援訪問	5月 R3.5～R3.11 R3.6～R3.12	全校種の教員
	いじめ問題解決支援チーム派遣	解決困難ないじめ事案に対する訪問支援	R3.4～R4.3	学校及び市町村教育委員会



## 令和3年度の施策に係る概要

公所名 保健体育課

説明者 総括課長 清川 義彦

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
健やかな体の育成	○豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実 ○適切な部活動体制の推進 ○健康教育の充実
学びの基盤づくり	○安心して学べる環境の整備

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実	① 希望郷いわて元気・体力アップ60運動推進事業	・一日に合わせて60分以上運動(遊び)やスポーツに親しむ運動習慣の形成に向けた学校と家庭・地域が連携した環境づくり	通年	幼稚園 小学校 中学校 義務教育学校 高等学校 特別支援学校
	② オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	・生涯にわたりスポーツに親しむことを目指し、運動・スポーツとの多様な関わり方を学ぶためのオリパラ教育の推進	6～2月	推進校 小学校 5校 中学校 2校
適切な部活動体制の推進	③ 部活動連絡会等支援事業	・教職員、保護者、外部指導者の指導方針の共通理解を図るための「部活動連絡会」開催の周知	5～2月	中学校 義務教育学校 高等学校
	④ 運動部活動指導者研修会	・中学校及び高等学校の運動部活動担当者等の指導力向上を図ることを目的として研修会を実施	通年	中学校 高等学校
	⑤ 部活動指導員配置事業	・市町村立中学校等の部活動指導員配置に係る経費を負担するとともに県立学校の部活動指導員配置及び指導員に対する研修を実施	通年	市町村 高等学校
健康教育の充実	⑥ 中学生スポーツ・文化活動に係る研究	・「生徒本位の有意義な活動の在り方」についての周知及び地域と連携した活動の在り方についての検討	通年	中学校 義務教育学校
	⑦ 学校保健研修会	・「学校におけるがん教育指導者向けマニュアル」と肥満予防及び改善指導資料の活用の促進 ・学校保健推進者の資質向上を図ることを目的として実施	10月	小学校 中学校 義務教育学校 高等学校 特別支援学校
安心して学べる環境の整備	⑧ 学校安全担当者研修会	・学校安全の中核となる教職員等の研修の充実を図り、学校安全に取り組む組織体制の構築を図るために実施	6月	幼稚園 小学校 中学校 義務教育学校 高等学校 特別支援学校

## 令和3年度の施策に係る概要

(公所名) 岩手県立生涯学習推進センター

(説明者) 所 長 久 慈 孝

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項 目	内 容
領域(1) 学習情報提供・相談	○HP「まなびネットいわて」のコンテンツの更なる充実と最新情報の提供、メルマガ配信数の増加に取り組み、広報紙及び電話対応と併せて、多様な情報提供と相談対応を行う。
領域(2) 調査・研究の推進	○「障がい者の生涯学習推進のあり方」と「社会教育における ICT 活用のあり方」について、調査および実践的な研究に取り組み、市町村や関係機関・団体の支援活動に努める。
領域(3) 指導者の養成・ 研修の充実	○市町村社会教育・生涯学習関係職員、家庭教育・子育て支援・地域づくり関係職員等の教育委員会及び各部局関係職員の資質の向上を図る。また、行政担当部局間及び支援団体関係者のつながりづくりに努める。 ○地域学校協働活動推進員(コーディネーター等)の研修の充実を通して、学校と地域の連携・協働の推進を図る。 ○「いわての復興教育」の趣旨を理解しながら、各地域の実情に応じた防災のあり方及び避難・避難所運営の留意点を学ぶことにより、職員及び関係者の資質向上を図る。

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領 域	事 業 名	趣 旨・内 容	期日・期間	対象・人数
領域(1) 学習情報 提供・学 習相談	ホームページの管理運用	・HP「まなびネットいわて」による常に新鮮で有益な生涯学習情報の発信 ※R3 目標値:年間総アクセス数 86,000 件 ※R2 県カウントシステムの停止・変更により実績値不明。登録情報件数は前年度並み。 ・研修講座のオンライン同時配信開始(一部)(会場からの同時中継で希望者が受講) ・「まなびネットいわて」リニューアル準備中	年間	県民
	相談対応の充実	・子育て電話・メール相談、生涯学習・社会教育電話相談(マナビコール)による支援		
	情報提供の充実	・いわてマナビマガジン(月2回程度) ・すこやかメルマガ(月4回) ・生涯学習情報誌(年4回)		
領域(2) 調査・研 究の推進	調査研究事業	・「障がい者の生涯学習推進のあり方に関する研究」(2年次/2年研究) ・「社会教育における ICT 活用のあり方に関する研究」(1年次/2年研究)	研究発表会 R4. 2/3～2/4	生涯学習・社会教育、地域づくり関係者100人
領域(3) 指導者の 養成・研 修の充実	(1) 人づくり・地域づくり関係職員等研修講座	(1) 社会教育の推進及び人づくり・地域づくりに携わる地区センター・公民館職員(他部局職員も含む)等の資質向上を図る研修会 ※共通テーマ: 「誰もが」共に学び、生きるための「障がい」理解	盛岡: 8/20 中部: 7/2 県南: 10/8 沿南: 11/30 宮古: 7/27 県北: 11/12	関係行政職員・関係団体職員等各20人×6地区会場
	(2) 子育て支援活動交流研修会	(2) 子育て支援・家庭教育支援にあたる担当職員及び子育て支援関係者の資質向上とネットワーク形成を図る研修会	8/25	家庭教育担当行政職員・子育て支援団体関係者等45人
	(3) 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会	(3) 学校の地域連携と地域学校協働活動を推進するコーディネーター等の資質向上を図る研修会	11/22	地域学校協働活動推進員・市町村担当職員・学校関係者35人
	(4) 地域安全防災研修会	(4) 市町村関係職員・地域づくり団体職員・学校関係者が「いわての復興教育」や地域における防災のあり方及び避難・避難所運営の留意点等を学ぶ研修会	9/17	行政関係職員、地域づくり団体職員、学校関係者等35人

## 令和3年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立図書館

説明者 館長 藤岡 宏章

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
(1) 図書館機能の充実	指定管理者との連携協力、図書館協議会の開催、アンケート等による利用者ニーズの把握、 <b>読書バリアフリー法への対応策検討</b>
(2) 資料の収集、整理、保存及び活用	郷土資料の重点的収集・整理と講座の開催による資料の活用、東日本大震災津波関連資料の網羅的収集と県立大学等との連携による資料の活用、 <b>古文書等貴重資料の整理とデジタル化</b>
(3) 相談機能の維持・充実	<b>県民が抱える課題の解決等に役立つレファレンスサービスの提供</b> 、レファレンス事例や郷土資料に関するデータベースの充実
(4) 学習機会の提供と読書活動の奨励	資料を活用した企画展等(創立100周年記念展示を含む)による学習の動機付け、 <b>本県独自の読書週間における標語及び手づくり絵本の募集</b> 、読書サークル等への資料貸出しや読み聞かせ会の実施
(5) 市町村支援及び連携	協力貸出・レファレンス、市町村立図書館の新設等に向けた支援、図書館等職員を対象とした各種研修、 <b>共通テーマに関する調査研究</b>
(6) 関係団体等との連携	県の図書館協会や読書推進運動協議会を通じた連携、美術館等他の社会教育施設との連携、アイーナ内施設等との連携

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間
適切な図書館運営と利用者サービスの向上	図書館資料の収集と活用	1 望ましい蔵書構成を目指した計画的な資料収集 2 各種事業やレファレンスによる資料の有効活用	通年
	郷土資料・震災資料の網羅的収集と活用	1 古文書等の解説、デジタルアーカイブ化の推進 2 郷土資料講座の開催 3 東日本大震災津波関連資料の収集と活用	通年
	利用者サービスの向上	1 レファレンスの充実 2 企画展等各種イベントの開催	通年
県民の読書活動の促進	読書週間による読書活動の促進	1 読書週間関連イベントの開催 (1) こどもの読書週間(全国) 4月23日～5月12日 (2) 読書週間(全国) 10月27日～11月9日 (3) 岩手の読書週間 2月1日～2月14日 2 読書推進標語及び手づくり絵本の募集・表彰 3 「読書をすすめるつどい」(表彰・講演等)の開催	左記期間中 左記期間中 左記期間中 6月～2月 2月5日(土)
市町村立図書館等への支援と連携の推進	訪問等による支援	1 訪問による図書館運営状況の把握・助言・支援 2 相互貸借や団体貸出等による支援	4月～11月 通年
	職員の育成	1 県図書館協会との連携による各種研修の実施 (1) 新任図書館長等研修会 (2) 初任職員研修会【コロナ対策のため延期】 ※ 後日、初となるオンライン配信を実施する予定 (3) 中堅職員研修会 (4) 専門研修(全3回) 2 図書館等職員による調査研究の共同実施	4月22日(木) 9月3日(金)  7月16日(金) 8月25日ほか 9月～2月
	教育事務所等への支援及び学習の場の提供等	1 個別相談への対応 2 教職員・ボランティア研修等への講師派遣 3 インターンシップ(高校生・大学生)や教員10年研修等の受入れ	通年

## 令和3年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立博物館

説明者 副館長 工藤 善彦

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
(1) 調査研究活動と効果的な資料収集活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の自然史・文化史の拠点となることを目指す。</li> <li>本県の自然や人間の営みの証拠とするために欠くことができない資料を収集し、将来へ引き継ぐ。</li> </ul>
(2) 県民ニーズを踏まえた常設展示や魅力ある展覧会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査研究の成果や収集資料の状況を展覧会やホームページ等で発表し、県民の生涯学習等を積極的に支援する。</li> <li>魅力ある展示を推進し、来館者の増加に繋げる。</li> </ul>
(3) 特別展「みる！しる！わかる！三陸再発見」開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>開館40周年を迎えたことを記念し、特別展（6月12日～8月22日）と沿岸部への移動展（県立水産科学館（9月25日～10月24日））を開催し、三陸の多様で奥深い魅力を発信し、地域文化の振興と防災意識を再び高める機会とする。</li> </ul>
(4) 学校教育と博物館との連携強化など教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中高等学校への学習支援を積極的かつ継続的に行い、博物館利用に繋げる。</li> <li>県民が豊かな社会生活を営むための機会や情報を随時発信する。</li> </ul>
(5) 文化財の救出及び保存・管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸前高田市で被災した博物館資料の復興に向けて支援を継続する。</li> <li>長期的な被災文化財の救出及び保存・管理の対応方針に基づく取組の実行。</li> </ul>

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
展示活動	テーマ展 「教科書と違う岩手の歴史ー岩手の弥生～古墳時代ー」	弥生～古墳時代、稲作や金属器など最先端の技術が朝鮮半島から伝わり、日本は文明化の道を歩み始めた。しかし、ヤマセが吹く岩手の地は不利で、更に地球規模の寒冷化が始まった。教科書と違う岩手の歴史を紹介する。	11月23日（火・祝） ～令和4年2月6日（日）	県民
	テーマ展 「金田一家収蔵資料展ー金田一勝定を中心にー」	金田一家は、金田一京助の伯父であり盛岡銀行などの創業に関わった金田一勝定を輩出した名家である。金田一勝定関連の資料を中心に博物館活動の根幹である資料収集・調査研究の成果を幅広く公表する。	令和4年3月5日（土） ～5月8日（日）	県民
教育普及活動	講演会・講習会・観察会等の開催、学校教育との連携事業	<p>県民の学習意欲の高揚のため各種講演会等を開催するとともに、学習効果上がるよう学校教育との連携事業を実施する。</p> <p>(1) 文化講演会、地質・自然観察会、県博日曜講座等の実施</p> <p>(2) 教材用資料の貸出、たいけん教室等の実施</p>	随時	県民
受託事業	科学分析保存処理受託事業	東日本大震災津波で被災した資料の安定化処理・抜本修復を引き続き実施する。	通年	陸前高田市立博物館
自主事業	博物館まつり	多くの方々に博物館をより身近に感じてもらえるよう様々なイベントを実施する。	10月10日（日）	県民

## 令和3年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立美術館

説明者 職名 副館長 氏名 小笠原 誠

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
1 県民の共通財産としての将来への継承	1 県民のニーズに沿った岩手県らしい、高い集客性が見込める企画展等を開催し、多くの県民に国内外の優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、県民の文化芸術に対する理解を深める。また、各展覧会に関連付けた講座等を実施し、県民の文化芸術に対する興味・関心を高める。 (1) 企画展及びコレクション展の観覧者数(58,000人)の達成 (2) 教育普及事業の参加者数(13,700人)の達成 (3) 来館者の総合満足度85%以上の達成
2 調査・研究活動等の推進による本県評価の向上	2 芸術文化振興の拠点的機能を担う施設として、スタッフの人材育成・力量向上を図り、美術品の収集、調査・研究、展示・普及活動等を総合的に推進する。 (1) 美術品の計画的な収集、修復保存 (2) 調査・研究成果等に基づく岩手発の独自企画展開催 (3) 計画的な美術史研究や新規の教育事業開発の推進
3 県民が等しく鑑賞・参加・創造できる環境の整備	3 県民が優れた美術品の鑑賞や制作活動を体験できるよう環境を整備する。 (1) 効果的で訴求力のある広報活動の展開 (2) 県民ニーズに沿った魅力ある自主事業の実施 (3) 収蔵作品データの公開利用の推進

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
展示事業	1 企画展 2 コレクション展	1 企画展開催 (1) 深堀隆介展「金魚鉢、地球鉢」 (2) 足立美術館展 横山大観と近代日本画の名手たち (3) フランス・モダン・ポスター展 (4) 本城直季展(un)real utopia (5) 菅木志雄展<もの>の存在と<場>の永遠 (6) アートフェスタいわて2021 2 コレクション展開催	4/24～6/13 6/26～8/1 8/14～10/3 10/16～11/28 12/18～2/20 3/5～3/21 第1～4期	一般
教育普及活動事業	1 展示関連 2 美術普及 3 教育連携 4 来館者対応	1 ギャラリートーク、関連講座等 2 スタジオプログラム、美術講座等 3 出前授業 4 一般団体、学校団体	通年	一般 *内容により対象限定
自主事業	1 自主事業	1 20周年記念講演会 2 美術館まつり など	(調整中) (調整中)	一般

## 令和3年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立県南青少年の家  
 説明者 (公財) 岩手県スポーツ振興事業団 事務局長 宮 昌隆

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
1 主催事業・研修活動の充実	(1) <b>復興・防災教育プログラムの策定</b> ・東日本大震災津波伝承館やみちのく潮風トレイルを活用したプログラムを新たに策定(「自然ワンダークラブ」、「水と緑のフレンドシップ」) (2) 関係団体との連携等による魅力的な事業の企画 ・胆江森クラブの会員を創作活動の講師として招聘(「かるがも親子体験教室②」) (3) 新型コロナウイルス感染症に対応した事業実施 ・集団宿泊指導者研修会の実施、集団宿泊利用時の支援 ・利用マニュアルに沿った施設利用の徹底
2 利用の促進	(1) 関係教育機関、団体との連携による利用の促進 ・幼稚園、中学校、高校への直接訪問による利用PRの実施 ・新規利用者増に向けた、高齢者、幼児対象事業の企画 (2) ホームページとSNSを活用した広報活動 ・野外炊事と宿泊オリエンテーション動画の掲載
3 環境の整備・充実(安全の確保)	(1) 屋外炊事の食事場所として設置した簡易テントの安全な運用と管理 (2) 建物・設備の老朽化に伴う計画的な整備に係る県との協議 (3) 新型コロナウイルス感染症対策の徹底

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
受託	自然ワンダークラブ	異年齢で構成される集団が、四季を通してさまざまな野外活動を体験することにより、仲間・自然・岩手を大切にしようとする心を育てる。 <内容> ・年間登録制。同じ集団で1泊2日の体験を年4回実施。 ・東日本大震災津波伝承館の活用。避難訓練の実施	5月29日(土)～30日(日) 8月21日(土)～22日(日) 10月2日(土)～3日(日) 1月15日(土)～16日(日)	小学4年～6年まで 30人
受託	水と緑のフレンドシップ	異年齢で構成される集団の中で野外活動を通して主体的に活動し、たくましく生きようとする心を育成する。 <内容> ・陸中海岸青少年の家との連携 ・「みちのく潮風トレイル」の活用	8月1日(日)～5日(木)	小学5年～中学生まで 20人
受託	かるがも親子体験教室 ①【親子deアウトドア編】 ②【親子de宿泊体験!編】	親子で共同体験や交流活動を通じ、親子間の理解と関係を深める。また、親子同士の交流を通して子育てをする仲間作りを促進する。 <内容> アウトドアクッキング、森林散策、創作活動、宿泊体験	①7月3日(土) ②7月24日(土)～25日(日)	小学校1～3年生の子供をもつ家族 ①12家族 30人 ②20家族 40人

## 令和3年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立陸中海岸青少年の家

説明者 (公財)岩手県スポーツ振興事業団 事務局長 宮 昌隆

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点)

項目	内容
1 主催事業・研修活動の充実	<p>(1)地域の復興に合わせた海を利用した活動の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山田町教育委員会や鯨と海の科学館等と連携し、海洋スポーツ体験等を取り入れた事業を実施</li> <li>一部の学校の研修活動で試行的に実施していた海での活動を、「利用の手引き」に掲載し、正式な研修活動として実施</li> </ul> <p>(2)地域の人材、関係団体等との連携を深め、利用者ニーズを踏まえた新たなプログラムの企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山田町地域おこし協力隊やさんりくリアス・シェアリングネイチャーの会等との連携による、新たなプログラムの企画、事業実施</li> <li>復興・防災教育を推進するため、命をつなぐ未来館(釜石市)、大槌町文化交流センターおしゃっち(大槌町)への協力依頼、利用団体への紹介。</li> </ul>
2 利用の促進	<p>(1)お客様情報の管理によるリピーターの確保と保育施設(幼児)の利用拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼児期運動プログラム「マリン・キッズ」の実施</li> </ul> <p>(2)ホームページやフェイスブックによる広報の実施</p> <p>(3)小学校児童向けのイベントカレンダーの作成と配付(宮古・沿岸南部・中部各教育事務所管内小学校)</p>
3 環境の整備・充実(安全の確保)	<p>(1)施設、設備の点検強化と安全確保並びに計画的な改修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主点検や体育施設管理士による点検等の実施</li> <li>安全確保の視点に加え防犯面の点検を強化</li> <li>建物・設備の老朽化に伴う計画的な整備に係る県との協議</li> <li>所外での活動(沢、山、海など)における十分な安全対策の実施(避難経路の確認や申込時の説明等)</li> </ul> <p>(2)新型コロナウイルス感染症対策の徹底</p>

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
受託	マリンランド陸中自然体験塾 ①海の子野外教室	<p>・自然体験活動を通して、思いやりの心や自然を大切に作る心を育み、参加者相互の交流を図る。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海洋スポーツ、いかだ遊び、星空観察、海釣り、沢登り等</li> </ul>	7月29日(木) ～31日(土)	小学生 5・6年生 30人程度
自主	ワンダフルネイチャー 兜明神岳登山	<p>・登山を通して豊かな岩手の自然を満喫するとともに、参加者相互の交流を図る。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>兜明神岳登山、自然探索等</li> </ul>	10月9日(土)	小学生～ 一般 30人程度
自主	親子でエンジョイ1day 夜釣り	<p>・夜釣り体験を通して、親子や参加者相互の交流やふれあいを深める。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>堤防での夜釣り等</li> </ul>	11月20日(土)	中学生までの子どもを持つ親子 10家族 40人程度

## 令和3年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立県北青少年の家  
 説明者 (公財) 岩手県スポーツ振興事業団 事務局長 宮 昌隆

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
1 主催事業・研修活動の充実	<p>(1) <b>利用者の声を活かした事業企画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容の追加や実施時期の希望を受け、年2回開催に変更(「レッツ!トレッキング」)</li> <li>・利用者ニーズとコロナ禍への対応などを踏まえ、年3回(登録制)を年2回(その都度募集)に変更(「ジュニアフォレスターズ大作戦」)</li> </ul> <p>(2) <b>関連施設・団体との連携による開催事業の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体等と連携した企画の検討と事業実施 岩手県環境学習交流センター、久慈市ふるさと体験学習協会(一社)いわて流域ネットワーキング 等</li> </ul>
2 利用の促進	<p>(1) 広報活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスブックによる情報発信の充実</li> <li>・児童クラブ・子ども会・高齢者団体への訪問による施設PR</li> <li>・地元FM放送へのレギュラー出演</li> <li>・利用PRのため国道沿いに看板設置(年6回程度更新)</li> </ul>
3 環境の整備・充実(安全の確保)	<p>(1) 定期点検(月1回)と日常点検(研修班員や警備員等の巡回)の徹底とその結果を踏まえた迅速な対応</p> <p>(2) <b>新型コロナウイルス感染症対策</b>として、「消毒手順」や「食堂利用」のマニュアル作成と利用団体等への協力の呼びかけ</p>

## 2 事業計画について(重点事業2~3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
自主	レッツ!トレッキング	登山を通して、健康の維持増進を図ると共に、県北地域の豊かな自然に親しむ。 ※県環境学習交流センターとの連携	①6月8日(火) 八幡平 ②9月28日(火) 三ツ石山	子供から大人まで 各回20人程度
受託	サマーチャレンジキャンプ	異年齢で構成された集団が野外活動を通して自主性、忍耐力、協調性を育むとともにたくましく生きようとする心の育成を図る。 ※(一社)いわて流域ネットワーキング、ツリーライミングクラブやまねっこ、との連携	8月3日(火) ~6日(金)	小学校4~6年生及び中学生 30人程度
受託	ジュニアフォレスターズ大作戦	森林に関する学習や体験活動等を季節ごとに行うことにより、自然を大切にすることを育み、環境保全の実践意欲を育てる。 ※久慈市ふるさと体験学習協会との連携 <内容> ・森林学習、野外活動、炊事	①8月28日(土) ~29日(日) ②1月22日(土) ~23日(日)	小学校4~6年生 30人程度



## 令和3年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立野外活動センター

説明者 職名 所長 氏名 小岩 孝 朗

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
(1) 移転復旧した施設の開所及び供用開始に向けた準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本格供用開始に向けた受け入れ体制の整備</li> <li>○利用者受け入れ及び施設の維持管理に係る業務委託の締結</li> <li>○開所式の実施</li> <li>○新型コロナウイルス感染症への感染防止対策の実施</li> </ul>
(2) 施設利用の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報活動の実施</li> <li>○利用者アンケートの分析と改善方法の検討</li> </ul>
(3) 施設環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設敷地の環境整備</li> <li>○委託業者との円滑な連携(清掃、食堂等)</li> </ul>
(4) 主催事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然体験活動(「野活キッズ」「ドラマチック海遊塾」等)</li> <li>○家庭教育関連事業(「ファミリーキャンプ」「親子海釣り教室」等)</li> <li>○指導者養成事業(「ボランティア養成講座」等)</li> <li>○復興防災事業(「三陸探検隊」「震災復興関連施設見学」等)</li> <li>○スポーツ事業(「スポーツフェスティバル」「スポーツキッズ」等)</li> </ul>
(5) 研修プログラムの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野外活動(「野外炊事」「キャンプファイヤー」等)</li> <li>○スポーツ活動(「ニュースポーツ」「テニス」「陸上競技」等)</li> <li>○創作活動(「フォトフレーム」「七宝焼き」等)</li> </ul>

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
自然体験活動	ドラマチック海遊塾	海水浴、いかだ体験、津波伝承館見学、漁業体験など「海」をテーマとした活動とおして、自然への理解を深めるとともに、参加者相互のコミュニケーション能力の育成を図る。	7月29日(木)～8月1日(日)	小学5年～中学生 30人
復興防災事業	三陸探検隊	親子での体育館テント生活、野外炊事と非常食の試食会、震災関連施設の見学等とおして、震災について学ぶとともに、これからの災害について親子で考える機会とする。	10月9日(土)～10日(日)	小学生とその保護者 30人
スポーツ事業	野活スポーツフェスティバル	屋内スポーツ、屋外スポーツ及びニュースポーツが体験できる。生涯にわたって多くの県民が幅広くスポーツに親しむ契機とする。	10月31日(日)	スポーツ愛好者 400人

## 令和3年度

---

# 協議(2) 今後求められる施策の 方向性について

---

【テーマ】

新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育

～岩手らしさを生かした

生涯学習・社会教育施策の方向性について～

# 新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育 ～岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の 方向性について～

令和3年7月19日（月）  
岩手県教育委員会

1

## 協議（2）の概要

### 協議テーマについて

#### (1) 趣旨

人生100年時代の到来、情報化社会、人工知能（AI）の進展、Society5.0の実現働き方改革の推進等の社会の変化や、多発する大規模自然災害、新型コロナウイルス等の新たな感染症への対応、困難を抱える家庭、孤立化する若者や高齢者への支援、人口減少に伴う地域づくりなどの課題に直面しているこれからの時代への対応と、目指す姿に向けて、「岩手らしさを生かした」生涯学習・社会教育をどのように推進していくことが望ましいのか議論いただき、本県の生涯学習の振興、社会教育の充実に資する。

#### (2) 「新しい時代」の捉え

新しい時代 = 社会の変化や新たな課題 + 目指す姿

【目指す姿】（「いわて県民計画（2019～2028）」）

- 東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて
- 「いつでも・どこでも・だれでも」生涯を通じて学習を継続し、その成果を社会に役立てることができる環境がつけられている

2

### 協議の経緯・予定

- ・ 第1回（R2.7.14）：テーマに基づく課題と資源（岩手らしさ、よさ）についてのフリーディスカッション  
※視点「いつでも・どこでも・だれでも」学び続けられる環境づくり
- ・ 第2回（R3.1.25）：第1回を踏まえた、協議の論点（柱）の共有、施策の方向性についての協議
- ・ 第3回（R3.7.19）：協議の論点に基づく施策の方向性についての協議、第2回、第3回協議の整理
- ・ 第4回（R4.1.21）：「協議のまとめ」について検討（協議の整理）  
※予定
- ・ 令和4年3月：「協議のまとめ」の作成、公表

3

### 第1回会議について

#### 課題等の洗い出し ※第1回協議から

テレワーク            新しい生活様式  
リモート（可能性と課題）            教育振興運動（よさ）            復興教育（強み）            防災教育（強み）  
SNSの問題（不登校、なりすまし等）            世代間交流  
地域の核（地域施設）            学校、保護者、地域との連携  
オンライン講座（あれば学びやすい）  
自己肯定感            社会教育の中で活躍できる場（受け皿）あるとよい            復興の問題  
子供を取り巻く環境の変化            郷土愛を育む教育            不登校問題の解決  
リアルな課題（復興、地域づくり等）            どの学びとのゲートウェイでつなぐか  
地域資源と全国の資源をつなぐ            自分たちの地域のよさの気づき  
成人教育事業に人が集まらない（生産年齢人口の取込）            地域の力を上げる            地域固有文化の継承  
社会の変化が岩手に与える影響の分析  
新型コロナウイルスの影響            届ける支援（アウトリーチ）  
家庭の形が多様            信頼・相談できる大人            障がい児、社会的養護に置かれている子供  
地域の方と子供の関わり            インターネット機能を使えない（世代）            情報が行き届く手立て  
高齢化            家庭におけるネット環境            読書活動（よさ）

4

## 第2回会議について（第1回協議からの論点整理）

### A: ICT（情報通信技術）、デジタル社会

テレワーク 新しい生活様式【再掲】  
 リモート（可能性、課題）  
 SNSの問題（不登校、なりすまし）  
 オンライン講座  
 ゲートウェイ  
 地域資源と全国の資源をつなぐ  
 インターネットを使えない  
 情報が行き届く手立て  
 家庭におけるネット環境

### B:地域力・地域づくり

地域の核（地域施設） 学校,保護者,地域の連携  
 社会教育の中で活躍できる場（受け皿）  
 復興の問題【再掲】 郷土愛を育む教育  
 自分たちの地域のよさの築き 世代間交流  
 成人教育事業（生産年齢人口の取込）  
 地域力を上げる 地域固有文化の継承  
 教育振興運動（よさ、強み） 復興教育（強み）  
 地域の方と子供の関わり 防災教育（強み）  
 読書活動（よさ） 高齢化【再掲】

### C: 社会的包摂

SNSの問題  
 自己肯定感  
 子供を取り巻く環境の変化  
 届ける支援・アウトリーチ（の必要性）  
 家庭の形の変化 信頼・相談できる大人  
 障がい児、社会的養護に置かれている子供  
 インターネットを使えない【再掲】  
 情報が行き届く手立て【再掲】  
 高齢化

### D: 予測困難な課題（自然災害・感染症等）

復興の問題  
 新型コロナウイルスの影響  
 新しい生活様式  
 復興教育【再掲】  
 防災教育【再掲】

社会の変化が岩手に与える影響（分析）

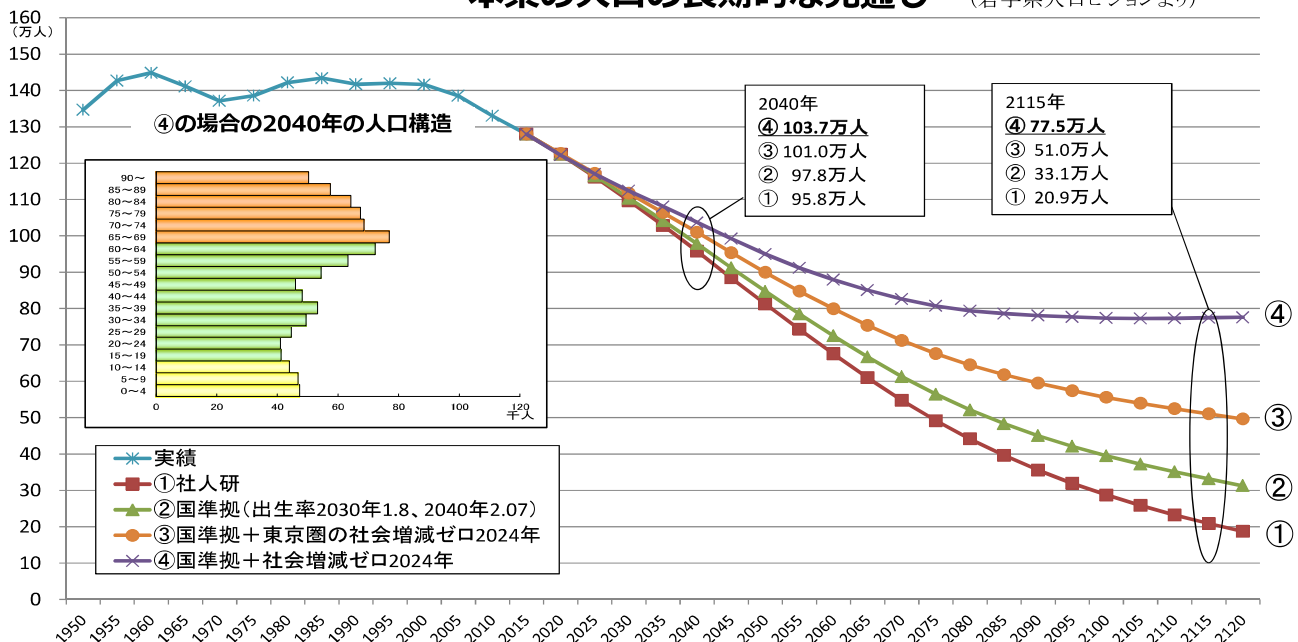
5

## 少子高齢・人口減少（岩手県の人口の展望）

### 人口の展望

- 国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、岩手県の人口は2040年に96万人程度、2115年には21万人程度と試算されています。（下図①）
  - ⇒ ○労働力不足、生産量（生産高）の低下（生産年齢人口の減少） ○医療、福祉・介護の需要増加
  - 学校教育、地域の文化継承への影響 ○地域コミュニティが果たしてきた共助機能の低下 等

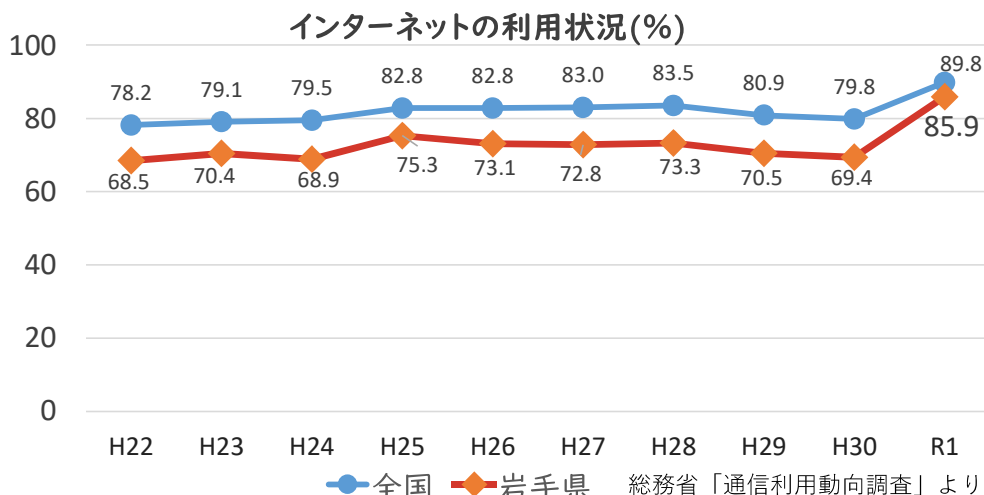
### 本県の人口の長期的な見通し（岩手県人口ビジョンより）



6

## インターネットの利用状況・国の動向

- 全国のインターネットの利用率は上昇傾向にあり、岩手県においても同様の傾向となっています。令和元年度において、全国では89.8%、岩手県は85.9%と9割に迫っています。
- 国では、IT基本法の見直し、デジタル庁を設置の方針を閣議決定（令和2年12月25日）するなど、デジタル化が進められています。
  - ⇒ ○地域コミュニティの機能低下や担い手不足等、地域課題の解決や利便性の向上が期待
  - 多発する自然災害への備え(データの活用) ○効果的な学び(いつでも、どこでも、だれでも)
  - 岩手県においてもインターネット利用が増加していることから、ICTリテラシー(よりよい使い方)の向上が必要
  - ICT、データの利活用が困難など取り残される世代、世帯等への対応が必要



7

# 自然災害・感染症（新型コロナウイルス）

## 「命を守る」生涯学習・社会教育

- 東日本大震災津波から10年となります。災害公営住宅、復興道路など復興は進んでいますが、こころのケア、コミュニティ形成支援等を進めていく必要があります。
- 平成28年台風10号、令和元年台風19号など、自然災害が多発しています。
- 新型コロナウイルス感染症は、岩手においても経済、仕事、暮らし、学びに影響を与えています。
- 令和2年中央教育審議会生涯学習分科会において、「命を守る」生涯学習・社会教育の重要性が示されています。
  - ⇒ ○東日本大震災津波の教訓、いわての復興教育(「いきる・かかわる・そなえる」)の取組の強み
  - 「いわて県民計画(2019~2028)における基本目標「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り続ける希望郷いわて」を推進
  - 人口減少が進む中、予測困難な台風等の自然災害、新型コロナウイルス等の感染症に対して、地域住民が共に学び合う機会が重要

## 令和元年度「心とからだの健康観察」集計結果について【概要】

5 「『つらかったこと』と聞かれて、あなたは何を思い浮かべましたか」という質問に対する回答の割合について

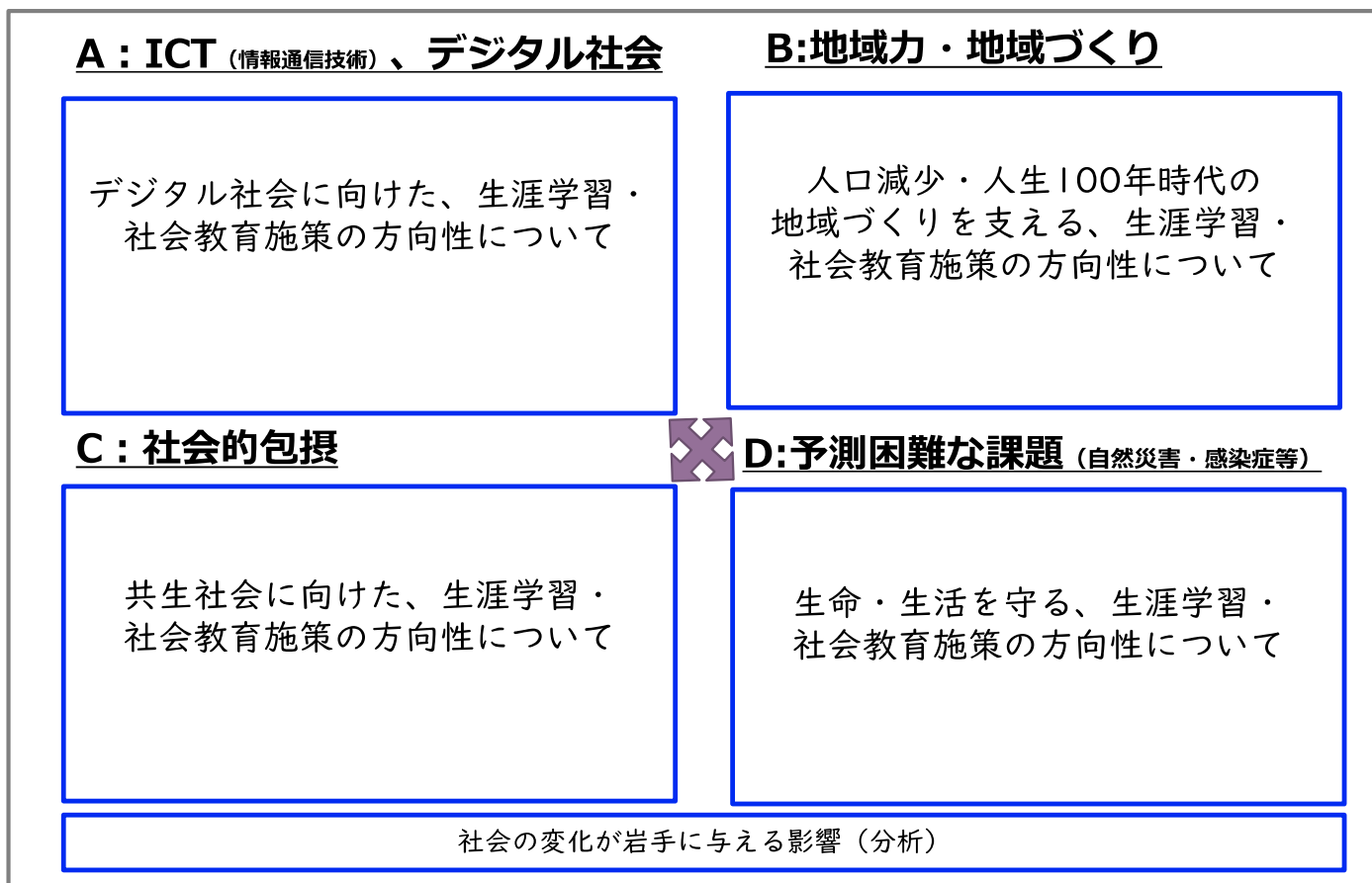
回答項目	年度	「大震災」		「他の大変なこと」		「両方」		「思いうかばない」	
		沿岸部	内陸部	沿岸部	内陸部	沿岸部	内陸部	沿岸部	内陸部
全校種	H23(%)	45.8	35.0	13.9	19.6	13.8	11.7	23.8	30.2
	R1(%)	9.4	6.2	26.2	26.5	5.3	3.4	52.4	55.9

(1) 大震災を想起している回答の割合(「大震災」・「両方」)が、内陸部より沿岸部で高い。

(2) 「他の大変なこと」の回答の割合が、沿岸部・内陸部ともおよそ4分の1であった。

(岩手県HPより)

## 第2回会議について（協議の論点）



9

## 第2回会議について

**A: ICT**（情報通信技術）、**デジタル社会**

デジタル社会に向けた、生涯学習、社会教育施策の方向性について

- ・小学校で導入されているプログラミング教育を、子どもたちに閉じるのではなく、地域全体でプログラミング講座を設定している事例がある。
- ・そこに住む人が、地域の人と一緒にになって相互扶助的な社会を目指すということが必要ではないか。
- ・オンライン公民館的なものを用意して、多種多様な講演会が開かれるといった取り組みが考えられる。
- ・デジタル化の恩恵も受けながら、誰一人も取り残さないで、人にやさしいデジタル化。

10

## 第2回会議について

### D: 予測困難な課題（自然災害・感染症等）

生命・生活を守る、生涯学習・社会教育施策の方向性について

- ・ICTで今まで救えなかった子供たちをかなり救える部分はあるが、逆に固着化してしまうというリスクもある。
- ・岩手県で少子高齢化が進行するとなると、高齢者を表に出していき、人生100年時代を迎えるような社会を作っていく必要がある。
- ・遠隔という取組は分野が違っていても生涯学習分野に応用できるのではないか。
- ・生涯学習はいろいろな分野を包括して考えなければならない。

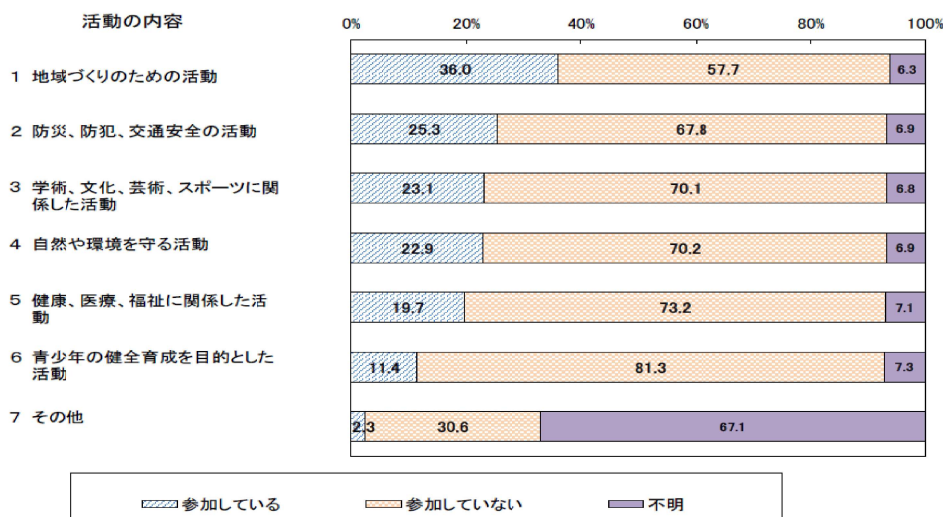
11

## 地域力・地域づくり

### 地域力を上げる

- ・県民が過去1年間に市民活動に参加した割合は、全調査項目の平均で20.1%となっている。  
※市民活動とは、NPO、ボランティア、自治会・町内会子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む）などの活動を指します。

#### 過去1年間にどのような市民活動に参加しましたか



※令和3年県の施策に関する県民意識調査より

12



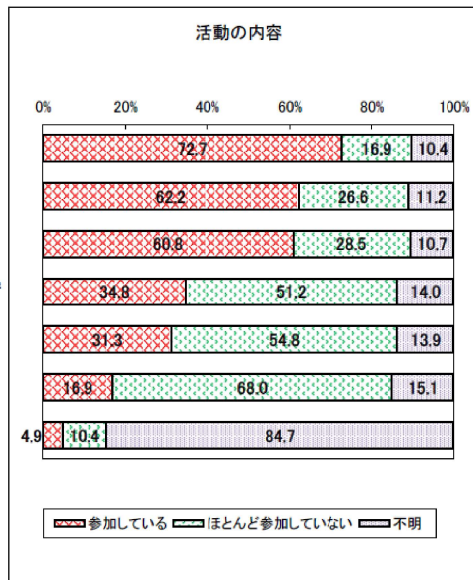
# 地域力・地域づくり

## 地域の方と子供の関わり

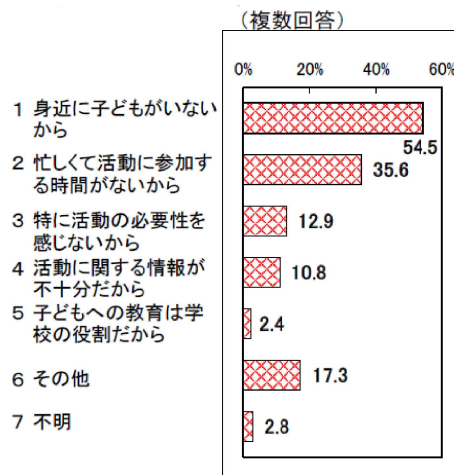
・学校行事や地域において子どもを育てる活動に参加している人の割合は19.8%となっている。

### 学校行事や地域において子どもを育てる活動に参加していますか

#### 1 参加している場合



#### 2 参加したいと思わない理由



※令和2年県民生活基本調査より

# 社会的包摂

## 届ける支援・アウトリーチ

### 令和元年度「全国家庭教育支援研究協議会」ワークショップまとめより一部抜粋

#### ①現状と課題

- 家庭をとりまく環境
  - ・地域のつながりが希薄
- 保護者の子育てに関する状況
  - ・子育てに悩む親、ひとり親、余裕のない親、相談できない親
- 本当に届けたい・伝えたい親へ支援が届かない
  - ・来て欲しい保護者は来ない

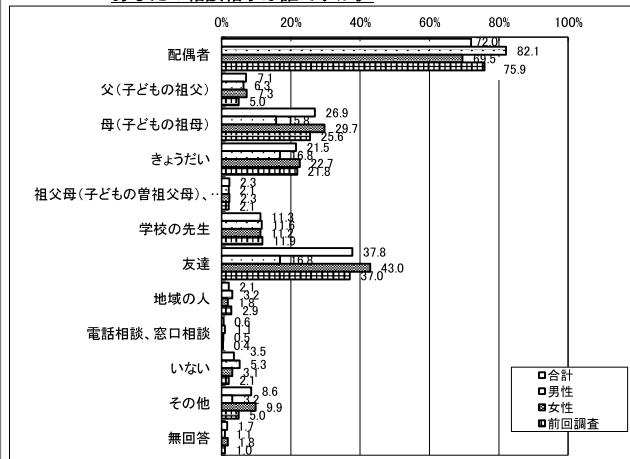


#### ②アウトリーチ型支援のねらい

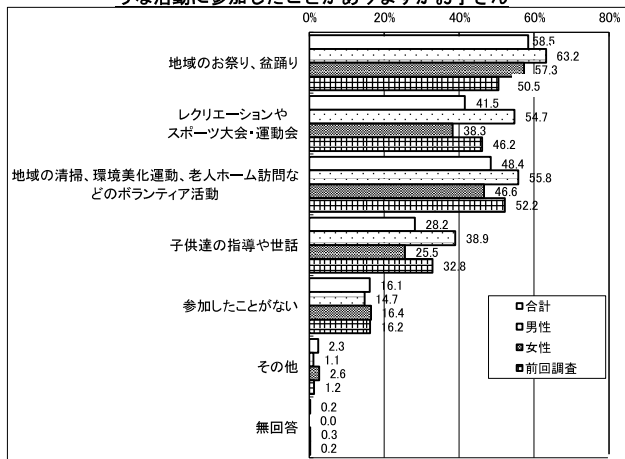
- 保護者の悩みに寄り添い、適切な支援につなぐこと
- 家庭と地域がつながるきっかけをつくること
- 家庭の悩みや問題が小さいうちに対応すること
- 学校でも行政でもない立場で、保護者に寄り添い、保護者と学校・地域をつなぐこと

【参考】平成30年度青少年の健全育成に関する意識調査（保護者に対する調査）【岩手県】

#### ○お子さんについての悩みごとや心配があるとき、あなたの相談相手は誰ですか。



#### ○あなたは、最近1年間で、地域における次のような活動に参加したことがありますかお子さん

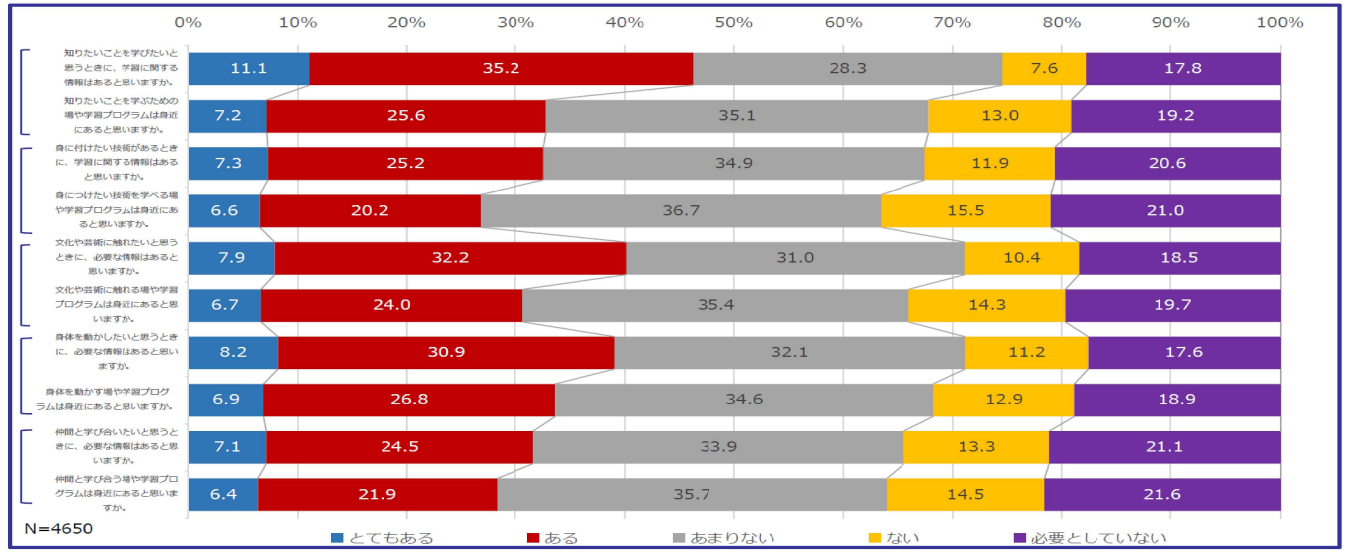


# 社会的包摂

## 障がい児・社会的養護におかれている子供

- 身近に感じているものとして、情報については「知りたいことを学びたいとき(46.3%)」「文化や芸術に触れたいとき(40.1%)」「身体を動かしたいと思うとき(39.1%)」の順に高い。
  - 場やプログラムについては「身体を動かすこと(33.7%)」「知りたいこと(32.8%)」「文化や芸術(30.7%)」の順となっている。
  - 一方、身近に感じていないものとしては「身に付けたい技術があるとき(26.8%)」「仲間と学び合いたいと思うとき(28.3%)」の場やプログラムがある。
- 出典：文部科学省「学校卒業後の障害者が学習活動に参加する際の阻害要因・促進要因等に関する調査研究」

### 学べる機会・情報が身近にあると感じているか



15

## 第3回会議について（協議の論点）

### B：地域力・地域づくり

人口減少・人生100年時代の地域づくりを支える、生涯学習・社会教育施策の方向性について

#### C：社会的包摂

共生社会に向けた、生涯学習・社会教育施策の方向性について

# 令和3年度 保健体育課関係事業の概要

保健体育課

## 学校体育

### 【豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実】

#### ＜幼児児童生徒の運動習慣の形成＞

幼児児童生徒が運動やスポーツに親しむ習慣を身に付けられるよう、食習慣や生活習慣との関連を図りながら、諸調査の効果的な活用、体育授業の改善、休み時間における運動遊びの奨励等の取組、家庭・地域と連携した環境づくりを推進する。

#### 「希望郷いわて元気・体力アップ60運動」推進事業

60運動の環境づくりの充実に向けて、希望する公立幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校及び特別支援学校に対して、指導主事の訪問による支援を行う。

また、「見える化」効果を生かして、歩数を確認しながら目標とする歩数の達成を目指し行動の変容を促す「ステップ8000!」に学校等が取り組めるよう、希望する学校等に歩数計を貸し出す。

#### ＜スポーツの教育的価値を学ぶ機会の推進＞

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を一つの契機と捉え、児童生徒がスポーツの意義や価値を学び、スポーツへの興味・関心を高める取組を推進する。

#### オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

【内容】オリンピック・パラリンピアン等の派遣、地域セミナー、実践報告会、指導主事による推進校への訪問支援

【推進校】希望する小・中・義務教育学校、高等学校、特別支援学校 7校  
(3校を研究推進校と位置付け、地域連携による取組を行う。)

### 【適切な部活動体制の推進】

「岩手県における部活動の在り方に関する方針」（改定版）に基づき、生徒の自主的・自発的な参加により行われる部活動を推進するとともに、望ましい部活動の実現を図る。

#### 中学生スポーツ・文化活動に係る研究

■ 有識者会議からの提言に基づく望ましい部活動の在り方の周知

■ 岩手県中学生スポーツ・文化活動セミナーの実施

【期日等】令和3年12月（予定）[会場：盛岡市]

【対象】参加を希望する学校関係者、保護者、地域指導者等

【内容】「いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから」に係る説明  
パネルディスカッション、講演

#### 地域運動部活動推進事業

■ 休日の部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究

■ スポーツ庁委託事業

■ 県内「2拠点」で実施

## 【健康教育の充実】

### ＜児童生徒の肥満予防・改善取組の推進＞

本県は肥満傾向児の出現率が高く、多くの年齢で全国上位を占める現状にあることから、児童生徒の肥満予防・改善を図るため、教育活動全体を通じた取組や、望ましい食習慣、生活習慣及び運動習慣の啓発など、学校と家庭・地域が連携した取組を推進する。

#### 岩手県学校健康教育研究大会（希望）

【期日】12月16日（木）

【対象】教職員、学校医等、PTA関係等一般参加者、その他関係機関

【内容】食に関する指導の進め方、子どもの生活習慣の確立に関する指導の進め方

#### ◆活用を推進する資料

- (1) 「もうぺっこ噛みましょう！みんなで取り組むカミカミ運動」
- (2) 「岩手型 肥満解消ぺっこアプローチ～軽度肥満対象個別相談指導資料～ハンドブック」
- (3) 中高生の肥満予防・改善指導資料「☆岩手っ子カラダ改革☆LAFF Challenge」
- (4) 希望郷いわて 元気・体力アップ60(ロクマル) 運動 チャレンジカード

### ＜現代的な健康課題への対応＞

#### 1 小学校における喫煙飲酒を含めた薬物乱用防止教室開催の推進

第五次薬物乱用防止5か年戦略の目標の一つである「青少年を中心とした広報・啓発を通じた国民全体の規範意識の向上による薬物乱用防止」の達成に向け、小学校における喫煙・飲酒を含めた薬物乱用防止教室の開催を推進する。

#### 岩手県薬物乱用防止教室講習会（希望）

【期日】9月18日（土）

【対象】警察職員、学校薬剤師

【内容】薬物乱用防止教室指導者としての専門的知識・技術の向上

#### ◆活用を推進する資料

- (1) 「薬物乱用防止教室」の手引
- (2) 「薬物乱用防止教室」の手引（小中学校版）
- (3) 「小学校における薬物乱用防止教室の展開例」

#### 2 がん教育の推進

学習指導要領に基づくがん教育の実施を推進する。

#### 岩手県学校保健研修会（悉皆 5年に1回の割当）

【期日】10月26日（火）

【対象】小・中・義務教育学校・高・特の学校保健推進者

学校におけるがん教育に関心のある医療従事者等（がん教育の外部講師等）

【内容】学校におけるがん教育の進め方に関する講義、授業実践紹介

#### ◆活用を推進する資料

「学校におけるがん教育指導者向けマニュアル」

### ＜アレルギー疾患対応の徹底＞

今まで食物アレルギーの報告がなかった児童生徒が、学校給食において新規発症

したという事例が多く見受けられるため、各学校において、アレルギー疾患対応体制を整備し、全職員が共通理解のもと学校全体で組織的に対応するために、アレルギー疾患緊急時の対応や食物アレルギーに関する研修を推進する。

**学校保健研修会**（悉皆 5年に1回の割当）

【期日】10月26日（火）（予定）（再掲）

【対象】小・中・義務教育学校・高・特の学校保健推進者

【内容】食物アレルギーやアナフィラキシー等に関する講義

◆活用を推進する資料

「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」（日本学校保健会）

「学校におけるアレルギー疾患対応指針」（岩手県教育委員会）

## <食育の推進>

学校と家庭・地域が連携し、教育活動全体を通じて食への理解促進や、家庭への望ましい食習慣等を啓発するため、食育と学校給食の管理を一体のものとして、学校教育活動全体で食育を推進する。

**「食育推進等研修会」**

【期日：8月27日（金）】

【対象】小・中・義務教育学校・高の食育担当者

【内容】本県の学校における食育の重要な視点に関する講義、取組事例紹介

◆活用を推進する資料等

(1) 「学校給食法」の「学校給食実施基準」、「学校給食衛生管理基準」

(2) 「食に関する指導の手引—第2次改訂版—（文部科学省）平成31年

(3) 「もうべっこ噛みましょう！みんなで取り組むカミカミ運動」

◆参考通知

令和2年6月1日付け教保第113号「令和2年度『食育月間における食育』の推進について」

## <学校給食における衛生管理の徹底>

安全安心な学校給食を提供するため、学校給食法「学校給食衛生管理基準」に照らした適切な衛生管理を推進する。

**「食育推進等研修会」**

【期日】6月7日（月）

【対象】市町村教育委員会学校給食担当者、学校給食従事者等

【内容】食中毒予防等の衛生管理に関する講義等

◆活用を推進する資料

学校給食法の「学校給食衛生管理基準」

**学校給食の衛生管理等に関する調査研究（文部科学省：支出委任事業）**

【期日】9月中

【対象】毎年4施設程度で実施

（令和3年度は盛岡市立高松小学校、北上市南部学校給食センター、山田町立学校給食センター、県立盛岡ひがし支援学校の4施設で実施）  
（令和4年度は盛岡市立高松小学校、北上市南部学校給食センター、山田町立学校給食センター、県立盛岡ひがし支援学校の4施設で実施予定）

【内容】学校給食施設の衛生管理状況調査及び調査結果に基づく改善指導

## 【安心して学べる環境の整備】

### ＜第2次学校安全の推進に関する計画を踏まえた学校安全の推進＞

児童生徒の学校における安全・安心な環境が確保されるよう、学校施設等の安全点検による事故等の未然防止など学校安全計画の組織的な推進や、学校・家庭・地域・関係機関との連携による通学時の見守りや安全教育などを推進する。

#### 《今後の学校安全の目指すべき姿》「第2次学校安全の推進に関する計画」

- (1) 全ての児童生徒等が、安全に関する資質・能力を身につけることを目指す。
- (2) 学校管理下における児童生徒等の事故に関し、死亡事故の発生件数は限りなくゼロとすることを目指すとともに、負傷・疾病の発生率については障害や重度の負傷を伴う事故を中心に減少傾向にすることを目指す。

#### 「学校安全担当者研修会」(文部科学省：学校安全教室事業) (3年に1回の割当)

【期日】 6月25日(金)

【対象】 小・中・義務教育学校・高・特の学校安全担当者、市町村教育委員会学校安全担当者等

【内容】 県内における防犯・交通安全の現状、学校事故防止に関する講義等

#### 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業(文部科学省補助事業)

【時期】 4～3月

【実施市町村】 県内16市町村

【内容】

- (1) スクールガード・リーダー(SGL)による学校の巡回指導と評価等の実施
- (2) スクールガード(SG)養成講習会の開催
- (3) 子どもたちの見守り活動の実施

#### 「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業連絡協議会兼SGL育成講習会」

【期日】 ①5月21日(金) ②10月初旬

【対象】 SGL、各市町村教育委員会学校安全担当者・地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業担当者

【内容】 県内における防犯・交通安全の現状、SGLの役割等に関する講義

#### ◆活用を推進する資料等

- (1) 「第2次学校安全の推進に関する計画」(平成29年閣議決定)
- (2) 「学校事故対応に関する指針」(平成28年 文部科学省)
- (3) 「学校安全資料『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」(文部科学省)
- (4) 「『登下校防犯プラン』について」(平成30年6月25日付け教保第151号参照)
- (5) 「学校の危機管理マニュアル作成の手引き」(文部科学省)
- (6) 「教育委員会危機管理マニュアル」(令和3年 岩手県教育委員会)
- (7) 「熱中症環境保健マニュアル2018」(環境省)